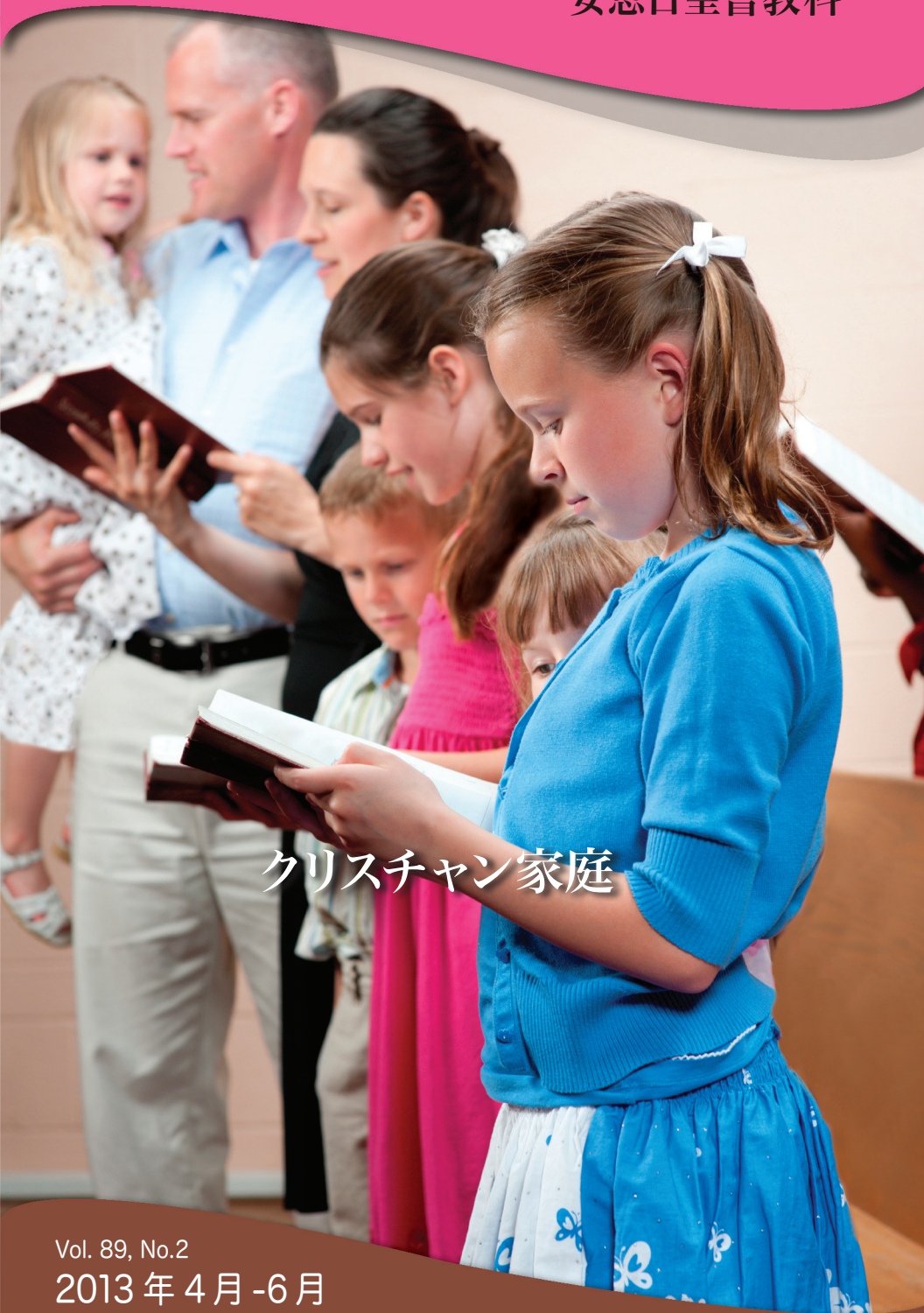
安息日聖書教科



クリスチャン家庭

Vol. 89, No.2
2013年4月-6月

目次

神、キリスト、そして人類	5
結婚：一生の結合	10
夫と妻	15
両親と子供 (I)	20
両親と子供 (II)	26
家庭における宗教	31
家庭の雰囲気	36
訓練学校としての家庭	41
家庭という会社	47
家族の規律	52
家庭の感化力	57
友人、親戚、そしてレクリエーション	62
家庭の難問を扱う	67

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke,Virginia 24019-0240,U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.89,No.2

編集＆発行：
ＳＤＡ改革運動日本ミッション

〒368－0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ケ久保1607－1

TEL：(0494) 22-0465

FAX：(0494) 26-5059

URL：
http//www.4angels.jp

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト：Illustrations: Getty Images on front cover; MapResources on pp. 4, 25, 46, and back cover.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔　〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

Printed in Japan

まえがき

かつて見られたことがないほど、家族が攻撃にさらされています。しばしば家族の言い争い、調整のとれない夫婦、結婚の誓いの裏切り、痛々しい別離、離婚と再婚、無視されたり捨てられたりする子供たちが、わたしたちの周囲の世の中で急速に増えています。家庭の崩壊は、今日多くの国々において人々が直面している最も深刻な問題の一つです。21 世紀に、典型的なクリスチャン家庭が「危険な種類」になりつつあるというのは、悲しむべき事実です。悲劇的な家庭の崩壊のしるしの中で、まず離婚とその有害な結果をトップリスト事項としてあげなくてはなりません。

わたしたちの主イエス・キリストの福音だけが、家庭を救うことができます。この主旨により、神は聖書の中に指示をお与えになりました。それは、幸せな家族をたしかなものとするばかりでなく、疎遠になっている心や崩壊した家庭の回復の役目を果たします。

今期は、クリスチャン家庭という主題のもとに、成功するクリスチャン家族を確立するため、この教えの多くの部分を通じて研究していきます。またエレン・G・ホワイトの筆からも多くの勧告が集められています。あなたが既婚者でも独身者でも、親でも子でも、これらの時宜にかなった勧告には、すべての人のための教訓があります。生徒がこれらの勧告を自分自身の家庭生活にあてはめるとき、その家庭が地上における小さな天国となるようにというのが、わたしたちの祈りです。しかし、これには、わたしたち自身の人間の知恵や世俗的な方法を、神の知恵と方法に明け渡すことが要求されます。

もし規律、秩序、清潔が、調和、平安、愛と同じように注意深く培われるなら、もし家庭の祭壇の周りに集まる改心した感謝の心から朝夕に讃美と祈りが立ちのぼるなら、もし家族の一人びとりが神のみ言葉の教えどおりに生活したなら、そのときキリストと聖天使たちのご臨在が、家庭の中に感じられるようになります。そのような家庭は、疲れた旅人にとって元気づけられる場所となり、青年たちのための訓練学校となり、すべての親が自分の忠実な働きから豊かな収穫を実感する実り豊かな伝道地となります。

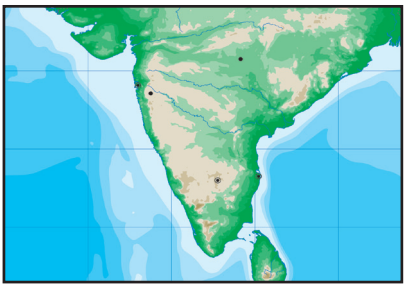
これらの教訓を研究する際、神の祝福が、親と子に、教師と生徒にありますように！

世界総会安息日学校支部

安息日 2013 年 4 月 6 日

第一安息日献金

インド・プネの教会のために



インドは、大きな民主主義国家であり、12 億人以上の人口を抱え、彼らはヒンズー教、イスラム教、仏教、シク教、ゾロアスター教、ジャイナ教、そしてキリスト教など多様な世界的宗教を奉じています。

改革のメッセージはおよそ半世紀ほど前にインドに伝えられましたが、それが完全に発展し、80 年代初期にインドの北部と北東部に初穂を結ぶまでには多少時間がかかりました。その時以来、現代の真理は、亜大陸の隅々にまで伝えられてきています。

この独特の地域では、世界中の他ではどこでも見られないような課題、困難、迫害に直面しなければなりません。初期のアドベンチストの信徒たちの経験をおぼえ、わたしたちは次の霊感の言葉をこだまさせることができます。「何年もの間、わたしたちの働きの先駆者たちは、現代の真理のみ事業を有利な立場に置くために、貧困や重なる困難に対して苦闘してきた。貧弱な施設で、彼らは倦むことなく労した。そして主は彼らのつつましい努力を祝福された。……今や、主は、もう一度力をもってメッセージを宣布するようわたしたちに命じておられる。……わたしたちはひとりの人のように応え、このお方のご命令を行わないのであろうか。わたしたちはこれらの伝道地を通じて、自分たちの使命者を派遣し、彼らを惜しみなく援助する計画を立てないのであろうか。……わたしたちがこの働きをするとき、金庫には資金が流れ込むのを見出すであろう。そしてさらに広く、遠大な働きを実行するための資金をもつようになるのである。」（教会への証 9 巻 98–101）

プネは、インド最大の都市ムンバイから 100 マイル（約 160 キロメートル）ほど離れたマハラシュトラ州にあるコスモポリタンです。プネは、紀元後 847 年から存在していることが知られています。今日、この繁栄している都市は、教育センターや多文化活動、また宗教的な多様性で有名です。ヒンズー教が支配的な宗教で、11 億人の人口の中でクリスチャンは 2%に及びません。

たしかにプネに礼拝堂を建てて真の生ける神に誉れを帰すべき時ですが、これはただ世界中の信徒仲間の寛大な支援があってこそ初めて可能です。皆さんの価値ある寛大な支援に先立ってお礼申し上げます。

プネの皆さんの兄弟姉妹より

神、キリスト、そして人類

「すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。」（コリント第二 5:19）

「イエスがわたしたちと共に住むために来て下さったので、わたしたちは神がわたしたちの試練を知り、わたしたちの悲しみに同情して下さることを知っている。すべてのアダムのむすこ娘たちは、わたしたちの創造主が罪人の友であられることを理解することができる。」（今日のわたしの生涯 290）

推奨文献：各時代の希望上巻 23–27

日曜日　*3月31日*

1.　　神聖な関係

a.　キリストが御父と持っておられる次の関係を述べなさい。（a）キリストが世に来られる前（b）このお方が世におられたとき（ヨハネ 1:1, 14; ピリピ 2:5–8; ヨハネ 17:5）。

「ヨハネ 17 章は、神とキリストの個性について、また彼らのお互いの関係について、はっきりと述べている。」（ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E. G. ﾎﾜｲﾄｺﾒﾝﾄ]5 巻 1145）

「宇宙の統治者は、その恵み深いお働きをひとりではなさらなかった。彼には助け手があった。すなわち、彼の目的を理解し、幸福を与えることを、共に喜び合える共労者であった。『初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった』（ヨハネ 1:1, 2）。言であり、神のひとり子であったキリストは、永遠の父と一つ、すなわち、その性質、品性、目的が一つであって、神のあらゆる計画と目的に参加できる唯一のおかたであった。」（人類のあけぼの上巻 2）

b. キリストと父なる神は、どのようにそのご関係の深さを確証なさいましたか（ヨハネ 8:29; マタイ 17:5）。

2.　　創造主のご計画

a.　何の目的のために、神はこの地球を創造なさいましたか（イザヤ 45:18）。いつ、どのように神の本来のご目的は成就しますか（詩篇 37:29; ペテロ第二 3:13）。

「全天は、世界と人の創造に深く喜ばしい関心をいだいた。人類は、新しい区別された種類であった。彼らは『神のかたち』に造られた。そして彼らが地に増えひろがることが創造主のご計画であった。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1902 年 2 月 11 日）

b.　神はご自分の申し出に応える人々にむかって、どのような態度を取られますか（詩篇 145:18, 19; イザヤ 49:14–16）。

「わたしたちが悩みのうちにあって、主に、わたしたちをあわれみ、聖霊によってお導きくださるように求める時、主は決してわたしたちの祈りを退けることはされない。飢えた子供を拒むことは親にはできることかも知れないが、神が、乏しさを感じて主に切望する心の叫びを拒むことは決しておできにならない。」（祝福の山 165）

c.　キリストのうちに表された神の愛に応える人々の心のうちに存在する態度を述べなさい（ヨハネ第一 4:19, 9–11）。

「宗教は神への愛に根ざしており、それはまたわたしたちが互いに愛するように導く。それは感謝と謙遜と寛容に満ちている。それは自己犠牲、忍耐、憐れみ、許しである。それは生活全体を聖化し、その感化力は他の人々にまで及ぶ。

神を愛する人々は、憎しみや妬みをいだくことができない。永遠の愛という天の原則が心を満たすとき、それは他の人々へあふれ出るが、単に彼らから好意を受けたからではなく、愛が行動の原則であり、品性を形成し、衝動を治め、感情を支配し、憎しみを征服し、愛情を高めまた高尚にするからである。この愛は……世界のように広く、天のように高く、天使の働き人たちの愛と調和している。魂のうちに抱かれたこの愛は、生活全体をかぐわしいものとし、あたり全体に精錬された感化力をふりそそぐ。……もしわたしたちが心をつくして神を愛するならば、わたしたちは必然的にこのお方の子らもまた愛するのである。」（教会への証 4 巻 223, 224）

3. 神の人類との関係

a. わたしたちは、神格との関係を通して、どのように祝福されていますか（マタイ 7:7–11）。神はご自分がわたしたちを愛し、わたしたちの幸福について心にかけておられる証拠を、どのように与えてこられましたか（ヨナ 4:2（下句）；ミカ 7:18）。

「天使は神のみ前にひざまずき、神のみそばにはべることを好み、神と交わることをこの上ない喜びとしている。それなのに、神のほか与えることのできない助けを最も必要としている地上の子らが、聖霊の光も神の臨在も仰がず、満足して日を送っているように思われるのである。」（キリストへの道 128,129）

「神は天にも地にも、数えきれぬほどの愛のしるしをまき散らして、わたしたちの心をご自分に結びつけられた。自然界のいろいろのもの、または人の心が感じることのできる深い優しい地上のきずなによって、神はわたしたちに神ご自身を示そうとなさった。」（同上 3,4）

b. 神は人類家族の堕落した状態にもかかわらず、彼らのために何をしたいと望んでおられますか（マタイ 6:25–30）。

「キリストは山上の垂訓の中で、神に信頼することの必要について、尊い教訓をお教えになった。これは各時代を通じての神の子らを励ますためのものであり、今日においても、教えと慰めにみちている。救い主は、空の鳥が楽しく神をたたえ少しも心配せず、『まくことも、刈ることもせず』にいるのを見よと仰せになった。それでも、大いなる父は、小鳥の必要をみたされる。『あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者ではないか』（マタイ 6:26）と救い主は問われるのである。」（同上 172）

c. 正しい関係を得るにあたり、だれが助けますか（ガラテヤ 5:22, 23; ペテロ第二 1:3–7）。

「キリスト・イエスにあって新たに造られた者はみたまの実を結ぶ。つまり『愛、喜び、平 和、寛容、慈愛、善意、信仰、柔和、自制」（ガラテヤ 5:22, 23）を生じるのである。」（同上 75）

4.　神は人間の必要に共感して下さる

a. ハガルとその息子が荒野へと出ていった理由は何でしたか。またどのような方法で、神はハガルとそのむすこの必要に応えて下さいましたか（創世記 21:9–11, 17–20）。

b. 個人的な関係に関して、姦淫の場でとらえられた女の話の中で、どの原則が示されていますか（ヨハネ 8:10, 11）。人類の尊厳をイエスはどのようにお認めになりましたか（ルカ 15:1, 2）。

「〔第 7 条の戒めを犯したとして告発された〕この女をゆるし、もっとよい生活をするように励ましておやりになったイエスの行為を通して、イエスのご品性は完全な義の美しさに輝いている。イエスは、罪を軽く見たり、不義の意識を弱めたりはされないが、罪に定めようとしないで、救おうとされる。」（各時代の希望中巻 249）

「イエスは取税人たちの食卓に主賓としておつきになり、同情心と社交的な親切とによって、ご自分が人間性の尊厳をみとめておられることをお示しになった。そこで人々は、イエスの信頼に値する者になりたいと心から願った。彼らのかわいた心に、イエスのみことばは、いのちを与える祝福の力となってのぞんだ。社会からのけ者にされていたこの人たちに、新しい衝動がめざめ、新しい生活の可能性が開かれた。」（同上上巻 347）

c. ご自分の保護に委ねられた個人への神のみ約束は何ですか（ゼカリヤ 2:8; イザヤ 49:15, 16; マタイ 10:29, 30）。わたしたちが自分の命を神におゆだねするとき、どのように天の使たちがわたしたちを保護することを確信できますか（ヨハネ 10:28, 29）。

「キリストに屈服した魂は、キリストご自身のとりでとなり、キリストはそれをそむいた世の中に保たれる。キリストはその中でご自身の権威よりほかの権威がみとめられないように望まれる。このように天の勢力によって占領された魂はサタンの攻撃に攻め落されることがない。」（同上中巻 41）

「〔キリスト〕はご自分の許へ来て救われるようにとの招きを全世界に差し伸べておられる一方、御使を通して悔い改めと悔悟をもってご自分の許へ来るすべての魂に神聖な援助を与えるよう命じておられる。そしてこのお方はご自分の教会のただ中へ聖霊によって自らおいでになるのである。」（牧師への証 15）

木曜日 *4月4日*

5.　　理想的な関係

a.　天の関係に関して、わたしたちのための神のみ旨は何ですか（ヨハネ 3:16, 17; 17:3, 22）。

「人類を創造されたキリストは、人間の価値を理解することがおできになった。キリストは、ご自分が、祝福し、救おうとしていた人々の敵である悪を責められた。キリストは、たとえどんなに堕落していても、ひとりびとりの人間の中に、その神聖な関係という特権を回復されるべき神の子の姿を認められた。」（教育 79）

b.　神との関係という祝福を経験するとき、わたしたちは何をするように導かれますか（コリント第一 9:16; コリント第二 5:14, 15）。

「もしあなたが〔わたしたちの救い主に〕従う者となりたいならば、同情と共感を培わなければならない。……もしあなたがイエスを仰ぎ、このお方から知識と力と恵みを引き出しているなら、あなたはこのお方の慰めを他の人々に与えることができる。なぜなら、慰め主があなたと共におられるからである。」（福祉伝道 26）

「わたしたちにはキリストの愛があらわされたのであるから、キリストを知らないすべての人々にそれを知らせる義務がある。神は、わたしたちのためばかりでなく、他の人をも照すため光を与えて下さったのである。」（キリストへの道 110）

金曜日 *4月5日*

個人的な復習問題

1. **わたしたちはキリストと神との間の関係をある程度、どのように理解することができますか。**
2. **闇の日には神が自分たちと共におられないと感じる人々へ、どのようなメッセージが向けられていますか。**
3. **わたしたちと神格との関係は非常に尊いことを、どのような証拠が示していますか。**
4. **ハガルと姦淫の場でとらえられた女の経験を述べなさい。神は人類に対するご自分の気遣いをどのように示されますか。**
5. **キリストに従う人々が他の人々に天の特徴を表すことができるように、持つべき特質のいくつかを挙げなさい。**

結婚：一生の結合

「だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない。」（マタイ 19:6）

「人類の保管にゆだねられたその他のあらゆる良い神の賜物と同じに、結婚も罪によってゆがめられたが、その純潔と美しさを回復するのが福音の目的である。」（祝福の山 79）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 106–132

日曜日　*4月7日*

1.　　結婚の起源

a.　神が結婚制度を設立なさったとき、男女のためにどの律法を制定して下さいましたか（創世記 2:24）。

「その時、創造主は聖なる二人に結婚の契りを結ばせて、『人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである』と仰せになった（創世記 2:24）。創造主は世の終わりに至るまでのすべてのアダムの子らのために、結婚の律法を宣言された。永遠の父なる神ご自身がよしと宣言されたのは、人間にとって最高の祝福と発達の律法であった。」（祝福の山 79）

b.　何の理由により、結婚が制定されましたか（創世記 2:18; 1:26–28; コリント第一 7:2）。

「神は、最初の結婚をとり結ばれた。だから、結婚式の制定者は、宇宙の創造主である。『結婚を重んずべきである』（ヘブル 13:4）。それは、神が人間にお与えになった最初の賜物の一つであった。また、それは、堕落後、アダムが楽園の門から持って出た二つの制度のなかの一つである。婚姻関係に関する神の原則をわきまえ、それに従うときに、結婚は祝福である。それは、人類の純潔と幸福を守り、人間の社会的必要を満たし、肉体的、知的、道徳的性質を高める。」（人類のあけぼの上巻 21）

2.　　伴侶を選ぶ

a.　アブラハムはイサクの妻の選択において、どのような模範を残しましたか（創世記 24:1–4, 67）。この問題において、クリスチャンだと公言する人々がどれほど大幅にイサクと違っているかを話し合いなさい。

「イサクの歩いた道と、現代の青年たち、またクリスチャンと自称する人々でさえ追い求めている道とは、なんと異なっていることであろう。青年たちは、だれを愛そうと、それは自分だけで決定すればよく、神や親たちからはなんの支配も受けることではないと考えやすい。彼らは、一人前の男子、女子になるずっと前から、親たちの助けなど受けずに、自分で選択することができると考える。たいてい、数年の結婚生活で、まちがいを見つけるのは十分であるが、悲しむべき結果を防ぐのには遅すぎる。なぜなら、急いで相手を選んだのと同じ知恵と自制の欠如が、事情をさらに悪化させて、彼らの結婚生活を耐えられないくびきにしてしまうのである。こうして現世の幸福と永遠の生命の希望を破壊した人が多い。」（人類のあけぼの上巻 186, 187）

b.　結婚の伴侶を選択することに関して、愚かな選択の例をいくつか挙げなさい（ルカ 17:32; 創世記 26:34, 35; 27:46; ヨブ 2:9, 10; 士師記 14:1–3）。

c.　ロトの経験を例に用いて、結婚相手を選ぶ際に誤った選択をする影響について話し合いなさい。

「ロトの妻は利己的で、宗教心のない女であった。そして、彼女は、自分の夫をアブラハムから離れさせようとした。ロトは、彼女さえ望まなければ、賢明で神を恐れるアブラハムの勧告も聞けないソドムにとどまっていたくなかった。もし、彼が、初期に、アブラハムから忠実に教え込まれていなかったならば、彼の妻の感化と罪悪の町の交友とによって、神から離れていたことであろう。ロトの結婚とソドムに住宅を選んだことは、その後、数世代にわたってこの世界に起こった一連の不幸なできごとの出発点となった。」（同上 186）

3. 結婚における忠誠

a. 結婚を成功させるためには、家族関係と忠誠において、どのような変化が起こらなければなりませんか（コリント第一 7:33, 34）。

「婚約はすべて慎重に考慮されなければならない。なぜなら結婚は一生の歩みだからである。男女共に、彼らが生きながらえる間、人生の浮き沈みを通して互いに離れずついて行けるかどうかを慎重に考慮しなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 382）

b. クリスチャンの結婚の誓いは、男と同様に女からも、どのような一致を明らかにしますか（マルコ 10:8, 9; ヘブル 13:4（上句））。

「神は男から女を造られた。それは女が男の伴侶となり助け手となり、彼と一体となって彼を慰め、励まし、祝福し、その代わりに男が女の力強い助け手となるためであった。きよい目的、すなわち夫は女性の心の純粋な愛情を得るため、妻は夫の品性をやわらげ向上させて完全なものとするために結婚関係にはいる者は、彼らに対する神の目的を成就している。」（同上 99）

「若い人の心では、結婚というものがロマンスでおおわれているので、想像によって結婚をおおっているこのロマンスという特色をとり去って、結婚の誓約に含まれている重い責任感を心に印象づけることは困難である。この誓約はふたりの運命を死の手しか断つことができないきずなで結び合わせる。」（同上 382）

c. わたしたちは、男がただ一人の妻を持ち、また妻がただ一人の夫を持つことが、神のみ旨であることが、どのようにわかりますか（マタイ 19:4–6）。聖書で最初に一夫多妻が記録されているのはだれですか（創世記 4:18, 19）。

「はじめに神はアダムに一人の妻をお与えになり、こうしてご自分の秩序をお示しになった。このお方は人が複数の妻を持つようには決して計画されなかった。レメクはこの面における神の賢明な取り決めから離れた最初の者であった。彼には二人の妻がいて、その家庭に不調和を生みだした。」（霊的賜物 3 巻 99）

4.　　離婚：神のご計画ではない

a.　モーセの律法では、なぜ離婚と再婚が容認されていたのですか(マタイ 19:7, 8)。

「イエスは誤りを正し、人の中に神の道徳的な像を回復するためにこの世に来られた。結婚に対する誤った意見がイスラエルの教師たちの心にはいっていた。彼らは結婚という神聖な制度を無効にしていた。人は非常に無情になってほんのちょっとした口実で妻と別れたり、望むときは妻を子供から離して追い出したりした。……キリストはこのような悪を矯正するために来られた。そしてキリストが行なわれた第一の奇跡は婚姻の席でなされた。これによってキリストは結婚が純潔に汚れなく守られるとき、それは神聖な制度であることを世人に宣言された。」(ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 383, 384)

b.　人が自分の妻を出してもよい唯一の理由は何ですか (マタイ 5:32; 19:9)。

c.　聖書は、離婚した人の権利をどのような方法において、制限していますか (マルコ 10:11, 12; ルカ 16:18; ローマ 7:1–3; コリント第一 7:10, 11, 39)。

「今日も、キリストの時代と同様、社会のありさまは、この神聖な関係に関する天の理想とは、あまりにもかけはなれた状態である。しかしながら、交わりと喜びを望んでいたにもかかわらず、苦さと失望を経験した人々に、キリストの福音は慰安を与える。キリストのみたまによって与えられる忍耐と柔和が、苦い運命を甘く楽しいものにするのである。キリストが宿っている心は、キリストの愛に十分に満ち足りているので、自己に同情や関心を引こうとあせることがない。また魂を神にささげているために、人間の知恵の及ばないことを神の知恵がなしとげてくださる。神の恵みの啓示によって、かつては互いに離れて無関心であった人々の心が地上のいかなるきずなよりも強く永続的なきずなによって結ばれる。これこそ、試練にも耐えてゆくことのできる黄金の愛のきずなである。」(祝福の山 80, 81)

木曜日 *4月11日*

5.　　安定した関係

a.　結婚関係における安定のために、各々の伴侶のうちに、どのような態度が重要不可欠ですか（エペソ 5:21; ペテロ第一 5:5; コリント第一 12:25（下句））。

「あなたがたの生涯の結合において、あなたがたの愛情は、互いの幸福のために捧げられるべきである。各々が互いの幸福のために仕えるべきである。これがあなたがたに関する神のみ旨である。しかし、あなたがたは一つに混じり合うべきである一方、どちらも自分の個性を他の個性のうちに没入させてはならない……

キリストを万事における最初で最後で最上としなさい。たえずこのお方をながめなさい。そうすれば、このお方へのあなたの愛情は試練というテストに服するたびに、日々より深く強くなる。そしてこのお方へのあなたの愛が増すにつれ、互いへのあなたの愛は、より深くより強く成長するのである。」（教会への証 7 巻 45, 46）

b.　成功する結婚のためには何が必要とされていますか（ヨハネ 15:5（下句））。

「キリストの恵みが、そしてこれのみが、この制度を神の意図された通りのもの、すなわち人類の祝福と向上の手段となすことができる。こうして人間の家族は、その一致と平和と愛によって、天の家族を代表することができるのである。」（祝福の山 80）

金曜日 *4月12日*

個人的な復習問題

1. **パラダイスに起源をもつ二つの制度はどれですか。**
2. **アブラハムはイサクのためにふさわしい連れ合いを得るために、どこまで行きましたか。**
3. **夫と妻は、自分たちのための神のご目的が成就するために、お互いにどのような態度を取るべきですか。**
4. **福音は、結婚制度にどのような影響を与えますか。**
5. **夫と妻は自分たちの結婚関係の神聖さを守るために、お互いにどのようにふるまうべきですか。**

夫と妻

「あなたがたは、……あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい。互に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。」（コロサイ 3:12, 13）

「困難や困惑や失望に遭遇しても、その結婚が誤りであったとか、失望であったとかいうような気持ちを夫も妻も抱いてはならない。……。最初のころの心づくしを継続し、……相互の幸福を増進するように研究なさい。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 107）

推奨文献：ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 329–335

日曜日　*4 月 14 日*

1.　　成功の要素

a.　どのようにして夫と妻は互いに愛と恵みのうちに、またわたしたちの主の知識のうちに成長するのを助けることができますか（ガラテヤ 6:2）。

「結婚関係にはいった者たちが共にイエスに学ぶことに努力し、神の霊にますます満たされていくのを見ること以上に神にとってよろこばしいことがあるであろうか。」（同上 116）

b.　他にどのような要素が、結婚関係の成功を増大させますか（コロサイ 3:12–15）。

「女性の幸福と有用性を破壊し、その生涯を悲惨なものにすることにかけて、夫ほど効果的にそれをやれる者は他にない。また男性の希望や抱負をくじき、力をまひさせ、その感化力や成功の見通しを台なしにすることにおいて彼の妻の百分の一ほどのことができる人はだれもない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 37）

「あなたには今、結婚前にはなかった果たすべき義務がある。『あなたがたは、……あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい』『また愛のうちを歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって』（コロサイ 3:12; エペソ 5:2）。」（教会への証 7 巻 46）

2.　　夫と妻の関係

a.　どの教えが、家庭の内と外の人間関係において家族の助けとなるべきですか（ペテロ第一 3:1–4）。クリスチャン家庭のための神のご計画は何ですか。

「神はわたしたちの家族が天の家族の象徴となることを望んでおられる。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 5）

「どの人も忍耐することによって忍耐心を養わなければならない。親切で忍耐強くあることによってほんとうの愛をいつも心にあたたかく保つことができる。またそうあることによって天に是認されるよい特質がのばされる。」（同上 107）

b.　どの条件の下に、結婚関係における調和が持続しますか（ガラテヤ 5:13–16）。

「夫と妻は何でも共に話しなさい。互いに最初のころの心づくしを新たにし、互いに自分の欠点を認めなさい。ただし、この働きにおいて、夫が妻の欠点を告白することを自分の仕事にしたり、妻が夫の欠点を告白することを自分の仕事にしたりすることのないように、非常に気をつけなさい。互いに、自分ができるかぎりのものとなることを決心しなさい。そうすれば、結婚の絆は最も望ましい結びつきとなる。」（天国で 203）

c.　夫と妻は互いをどのように扱うべきですか（エペソ 5:22, 23, 25; マタイ 7:12）。

「わたしたちは神のみたまを持たなければならない。さもなければ家庭に調和を保つことはできない。妻がキリストの精神を持っているなら、ことば使いに注意し、心を抑制し、従順である。しかしそのために自分を奴隷と感じることはなく、夫の友であると感じる。もし夫が神のしもべであれば、彼は妻に対していばったり、独裁的であったり、か酷であったりすることはない。家庭は、神のみたまがそこに住みたもうとき天の象徴となるから、家庭の愛情をたいせつに育てるためにいくら心をくばってもくばりすぎるということはない。……一方が誤ちを犯しても他方がキリストのような忍耐を示し冷淡にはなれたりしない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 120）

「各家庭はそれぞれ神聖なわくの中にあって、それはこわしてはならぬものである。このわくの中には他人はだれもはいる権利がない。夫も妻も自分たちだけのものである信頼を他人に与えてはならない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 333）

3. 結婚における相互の愛、敬意、尊重

a. 夫は自分の妻に対してどのような態度をとるべきですか（コロサイ 3:19）。

「夫がキリストに服従しないのに家長としての支配権を持つということは神のご計画ではない。夫は教会との関係におけるキリストを代表することができるように、彼自身キリストの支配の下にいなければならない。夫が粗野で乱暴で、高慢で利己主義で、か酷で威張った人であるなら、……夫が妻のかしらであり、妻はすべてのことにおいて服従しなければならないなどとは一言もいわせてはならない。……

夫はエペソ人への手紙にしるされている象徴、すなわちキリストが教会と持っておられる関係によって何が意味されているかを理解し、その模範を研究しなければならない。夫は家族の中では救い主のような存在でなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 119）

「わが兄弟よ、親切で、忍耐強く、寛容でありなさい。あなたの妻は、あなたを自分の夫として受け入れたのであって、あなたが彼女を支配するためではなく、彼女の助け手となるためであることを覚えていなさい。決して威圧的であったり、独裁的であってはならない。あなたの強い意志の力を、あなたの妻があなたの望むとおりにするよう強いるために働かせてはならない。あなたが自分の方法でやりたいと望むのと同様に、彼女にも自分の方法でやりたいと望む意志があることを覚えていなさい。……思いやり深く、礼儀正しくありなさい。『上からの知恵は、第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りがない』（ヤコブ 3:17）。」（教会への証 7 巻 48）

b. 聖書は夫への妻の従順について、なんと教えていますか（コロサイ 3:18; ペテロ第一 3:4–6）。主の使命者は、妻にどのような訓告の言葉を与えるよう迫られましたか。

「わたしは他の人より先に、あなたがジョンに語るとき命令的で、声はいらだった口調であることにしばしば気づいた。メアリー、他の人々はこのことに気づいていて、そのことをわたしに告げてきた。それはあなたの感化力を損う。

わたしたち女性は、神がわたしたちを夫に従う立場におかれたことを覚えていなければならない。夫が頭であり、わたしたちの判断や見解や論法は、可能であれば、彼のものと一致していなければならない。もしそうでなければ、神のみ言葉は、それが良心の問題でない場合、夫に優先権を与えている。わたしたちはかしらに譲らなければならない。」（性的行動、姦淫、離婚に関する証 28）

4.　　自尊心

a.　男性の自分の妻への愛はどれくらい深くあるべきですか（エペソ 5:28）。

「妻は夫を尊敬しなければならない。夫は妻を愛したいせつにしなければならない。結婚の誓約が彼らを一つに結びつけたように、キリストに対する彼らの信仰は、彼らをキリストにあって一つにすべきである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 116）

「夫であり父親である人はすべて、キリストのことばを理解するためにそれを研究しなければならない。妻は夫に従うべきであるということだけを考える一方的な態度ではなく、キリストの十字架の光に照らして、家族の中における自分の地位を研究しなければならない。『夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自分をささげられたように、妻を愛しなさい。キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであ（る）』（エペソ 5:25, 26）。キリストはわたしたちをきよめ、聖霊の力によってすべての罪と汚れからわたしたちを守るためにご自分をささげ、十字架の上に死なれたのである。」（同上 120）

b.　夫婦は互いに、どのようにして結婚の単位を適切に、温かく、正直に補完しあい、奨励することができますか（エペソ 5:33; ペテロ第一 3:1, 7）。

c.　わたしたちはどのようにして最も幸福な家族となることができますか（コロサイ 3:16, 17; 詩篇 128）。

「お互に愛を強制することなく、かえって愛を与えるべきである。自分の中にある最高の品性を養育し、互に相手の長所をすみやかに認めるようにしなさい。真価を認められているという意識は驚くほどの刺激となり、満足感を与える。……

夫も妻も専横的な態度で相手に接してはならない。しいて自分の希望に服従させようとしてはならない。そうするとき、相互間の愛を保つことはできない。親切、忍耐、辛抱、思慮、礼儀をもちなさい。結婚の誓いに約束したように神の恵みによって相互に幸福になることができる。」（同上 333）

「イエスは幸福な結婚、幸福な炉辺を見ることを望まれる。」（同上 100）

木曜日 *4月18日*

5.　　結婚、救いの手段

a.　クリスチャン家庭においてどの原則が、特別な場所を占めるべきですか（マタイ 5:14–16; テトス 2:1–4）。

「どの家庭も愛の宿るところでなければならない。神の使がとどまって、両親や子供の心をやわらげ従順にする力をもって働くところでなければならない。

わたしたちの家庭をベテル（神の家）にし、わたしたちの心を神の宮としなければならない。魂に神の愛が保たれているところはどこでも平和と光と喜びがある。愛をもって神のみことばを家族の前にひろげ、『神は何と仰せになっているか』と尋ねなさい。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 7）

b.　どのような方法において、結婚は未信者にとって救いの手段となることができますか（テトス 2:4–6; ヨハネ第一 3:18; コリント第一 7:16）。

「すべてのクリスチャンの家庭から、清い光が輝き出なければならない。愛は、行動に現わされるべきである。愛は、家庭のすべての交わりにあふれ出て、思いやりとおだやかさと、自分を忘れたやさしさとなってあらわれるべきである。」（人類のあけぼの上巻 148, 149）

「家庭のキリスト教がどんなものであるかの最良の試験は、その影響によって、どんな型の品性が生まれるかということである。どんな明確な信仰の表明よりも、行動のほうがより大きな力がある。」（同上下巻 235）

金曜日 *4月19日*

個人的な復習問題

1. **夫と妻の相互の義務を要約しなさい。**
2. **家庭の内外の人間関係に関して、神の教えは何ですか。結婚関係において、どのように調和が維持されますか。**
3. **どのような態度が、もし夫と妻によって具現化されるならば、天の雰囲気が家庭に持ち込まれますか。**
4. **結婚の誓約のうちにいる各々が互いの自尊心に貢献するいくつかの方法を述べなさい。**
5. **結婚は、どのような方法において、すくいの手段ですか。**

両親と子供 (I)

「見よ、わたしと、主のわたしに賜わった子たちとは、シオンの山にいます万軍の主から与えられたイスラエルのしるしであり、前ぶれである。」（イザヤ 8:18）

「子供は尊い信任として両親に委ねられたものであり、神がいつか彼らの手からお求めになる。わたしたちは、彼らの訓練のために、さらなる時間と、心遣いと、祈りを捧げるべきである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1882 年 6 月 13 日）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 201–225

日曜日　*4 月 21 日*

1.　　男と女

a.　神はなぜ人々を創造されたのですか―またこのご目的は、どのようにアダムとエバの創造において反映されていましたか（イザヤ 43:7; 創世記 1:27）。

「人類は、新しい区別された種類であった。彼らは『神のかたち』に造られた。そして彼らが地に増えひろがることが創造主のご計画であった。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1902 年 2 月 11 日）

b.　創造主が彼らを男と女とに造られた事実は、なぜそれほど意味があるのですか（創世記 2:18; 1:28; 3:20）。

「人が孤独で暮らすことは神の目的ではなかった。神は『人がひとりでいるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう』と仰せになった（創世記 2:18）。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 15）

「人間は孤独な生活をするように造られたのではない。彼は、社交的な存在でなければならなかった。……神ご自身が、アダムに伴侶をお与えになった。神は、『彼にふさわしい助け手』すなわち、彼にちょうど合った助け手、彼の伴侶となるにふさわしく、彼と一つになって、愛し、同情することができる者をお与えになった。」（人類のあけぼの上巻 21）

「アダムの助け手としてエバを与えられた〔キリスト〕が……婚姻を是認し、御自ら制定された制度としてそれを認められた。キリストは男女が清い結婚によって結ばれ、天の家族の一員として認められるような、りっぱな家族を育てあげるようにお定めになった。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 167）

2.　特権と義務

a.　歴史的に、神の民は子供を持つ特権をどのように考えていましたか（創世記 30:1, 2; 詩篇 127:3）。

「子供たちが命とその存在を親から得たとはいえ、彼らが生命を持っているのは神の創造力によるのである。神は生命の賦与者であられるからである。子供たちを自分の所有物であるかのように扱ってはならない。子供たちは主の財産であり、あがないの計画はわれわれと同様に彼らの救いをも含んでいるのである。彼らは現在と永遠における彼らの仕事をなすにふさわしい者となるように主の薫陶と訓戒とによって育てられるために親にまかされたのである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 312）

b.　どの範囲まで、親は自分の子供たちの霊的な養育に責任がありますか（イザヤ 8:18; ヘブル 2:13）。

「キリストもかつては幼い子供であられた。キリストのために子供たちを尊びなさい。彼らを甘やかしたり、愛撫したり、偶像視したりするのではなくて、純潔で高貴な生活をするように教えるべき神聖な責任とみなしなさい。彼らは神の財産である。神は彼らを愛しておられる。そして彼らが完全な品性をつくるのを助けることによって神と協力するように訴えておられる。……

彼は群れの子供たちを軽んじたり、おろそかにしたり、後に残しておくということはされない。このお方はわたしたちに前に進んで彼らを後に残すようにお命じにはならなかった。……親は彼の名においてせまい道を子供たちによりそって導くように要求されている。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 312, 313）

「わたしたちの最も貴重な時間は、わたしたち自身の血肉に属している。あなたの子供たちに決して『あなたと何かする時間はないのですよ』と言うのを聞かせてはならない。わたしたちが神のみ座に近づくことができる以上は、親としてわたしたちはそのような言葉を口にすることを恥じるべきである。イエスに叫びなさい。そうすればこのお方はあなたが自分の小さい者たちをご自分の許へつれていき、彼らを敵の力から守るのを助けてくださる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1895 年 7 月 16 日）

c.　家庭における忠実な羊飼いの報いは何ですか（ペテロ第一 5:4）。

「もし神に安心して会いたいと思うなら、神の群れをいま霊的な食物で養いなさい。なぜなら、どの子供もみな、永遠の命に達する可能性をもっているからである。子供や青年は神の特殊な宝である。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 313）

3. 子供のための配慮

a. 母親たちが自分の子をイエスに祝福していただくためにつれてきたとき、弟子たちは何をしようとしましたか（マタイ 19:13–15）。

「キリストがこの地上におられたころ、母親たちはキリストに手をおいて祝福していただくために、子供たちを彼のところに連れて行った。母親たちはこの行為を通して、イエスに対する信仰と、彼らに養育するようにまかされた幼い者たちの現在及び将来の幸福に対する真剣な心づかいを表わした。だが、でしたちは、子供に注意を向けさせることだけのために、主をさまたげる必要を認めなかったので、母親たちを帰そうとした。そのとき、イエスはでしたちをしかり、幼い子供たちを連れたこの信仰厚い母親たちのために道をあけるように群衆に命令された。主は『幼な子をそのままにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である』（マタイ 19:14）と仰せになった。」（同上 304）

b. 神は子供たちをどのようにごらんになりますか（マタイ 18:1–4, 6）。

c. わたしたちが自分の子供たちをなおざりにすべきではない理由の一つは何ですか（マタイ 18:10）。

「子供は尊い遺産として両親にあずけられたものである。神はいつかそれを要求される。わたしたちは子供の教育にもっと多くの時間と心づかいと祈りをささげなければならない。子供たちは正しい教育をもっと必要としている。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 169）

「もし自分の子供たちが神を愛し、敬うことを望むならば、わたしたちは創造のみわざと聖なるみ言葉のうちに示されているこのお方のいつくしみ深さ、このお方の大権、そしてこのお方のみ力を語らなければならない。もし彼らがキリストの品性を愛し、これを模倣することを望むならば、このお方がわたしたちの贖いのために払われた犠牲について、またこのお方の地上生活に示された謙遜と自己否定、また比類のない愛と同情について彼らに語り、彼らにこれこそ、わたしたちがならうべき模範であることを教えなければならない。……

あなたのむすこ娘たちは、神の家族の若い一員であることを覚えていなさい。神は彼らを天のために訓練し、教育するために、あなたの保護にお委ねになった。あなたは自分の聖なる信任を果たした方法について、このお方に申し開きをしなければならない。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1882 年 6 月 13 日）

4.　　家族の一致

a.　だれを中心に、家庭においてほとんどのことが回りますか。それは、なぜですか（箴言 31:10–13, 25, 28）。なぜ家庭の中の一致、秩序、整頓、規律が、家族の全般的な幸福のために重要だと思いますか。

「母親がたよ、手のこんだ飾りによってでなく、清潔でよく似合う服装をすることによって、自分をできるだけ魅力的に見せなさい。そうすれば子供たちに、いつもみだしなみを良くすることと清潔にすることを教えることになる。子供たちの愛と尊敬は、どの母親にとっても、最も尊い、価値のあるものでなければならない。母親の身にまとっているものは、すべて子供に清潔とみだしなみのよさを教え、彼らの心に純潔を連想させるものでなければならない。ごく幼い子供の考えの中にでも、調和に対する感覚、物事のふさわしさに対する観念がある。彼らの目が毎日汚れた衣服や乱雑なへやを見ているとき、どうして彼らに清潔と純潔を好む気持ちを印象づけることができるであろうか。その住居が、清らかで聖潔な天の訪問者たちをどうしてそういう家に招待することができるであろうか。

秩序と清潔は天の法則である。天の制度に一致するために、清潔で上品にすることは、あなたの義務である。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 280, 281）

b.　父親は家庭の長として、自分の妻と子供たちに何を与えなければなりませんか。それはなぜですか（詩篇 103:13）。

「夫であり、父である者は家庭の長である。妻は愛と同情を彼に求め、子供の教育の助けを求めるが、それは正当なことである。子供は母親のものであると同時に父のものであり、子供の幸福に関して父も同じく関心をもっている。子供は父に支持と指導を仰ぐ。父は人生に関する正しい観念と家庭を包むべき感化と交わりに関して正しい考えを持たなければならないが、しかし何よりもまず、神の愛と神を畏れる気持とみ言葉の教えによって支配されていなければならない。それは子供の足を正しい道に導きうるためである。……

父親は家族にしっかりとした徳行、根気、高潔、正直、忍耐、勇気、勤勉、実際的な有用さを身につけるようにしなければならない。そしてその子供に要求することは自ら実行し、こうした美徳を自分のりっぱな態度によって示すべきである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 360, 361）

木曜日 *4月25日*

5.　　すべてのクリスチャン家庭はベテル

a.　ベテルにおけるヤコブの経験を述べなさい（創世記 28:16–19）。クリスチャンの親はどのように自分たちの家庭をベテル（神の家）に変えることができると思いますか。

「わたしたちの家庭をベテル（ 神の家）にし、わたしたちの心を神の宮としなければならない。心に神の愛が保たれているところはどこでも平和と光と喜びがある。愛をもって神のみことばを家族の前にひろげ、『神は何と仰せになっているか』と尋ねなさい。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 7）

b.　家庭の感化と社会の状態に関連して、子供の品性の発達について、話し合いなさい（ガラテヤ 6:7–9）。

「青年は受けた教育通りの影響を、また彼らの品性が幼いときから道徳的な習慣を持ち、自制し節制するように形造られていれば、その通りの影響を社会に与える。彼らが教育されずに放任されるなら、そしてその結果わがままになり、食欲や感情を制することができなくなるならば、彼らは将来の社会を形成する場合も同じような影響を与えるのである。彼らがいま交際する友人、いま形成する習慣、いま選びとる主義は、将来の社会状態を示すものである。」（同上 3）

金曜日 *4月26日*

個人的な復習問題

1. **創造において、アダムが社交的な存在として造られたことを示している証拠は何ですか。**
2. **出生について、神ができごとを支配しておられることをヤコブが理解したことを何が示していますか。**
3. **イエスが子供たちを取り扱われた方法から、わたしたちはどのような教訓を学ぶことができますか。**
4. **親の役割を互いにどのように補完すべきですか。**
5. **どのような方法において、家庭の感化力は、子供たちやわたしたちの生きている社会に影響を及ぼしますか。**

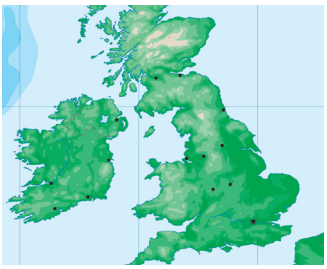
安息日 2013 年 5 月 4 日

第一安息日献金

2013 年ロンドンプロジェクトのために

親愛なる全世界の安息日学校出席者の兄弟姉妹、友人方へ

イエスの再臨のために準備している民として、わたしたちはイギリス国民に恩義をこうむっています。ドイツでルターによって始められたプロテスタント改革前に、ジョン・ウィクリフは一般の人々の言語で聖書のかすかな光を与えるための責任がありました。このため、彼は「宗教改革の明星」と呼ばれています。「ジョン・ウィクリフは、英国だけでなくて、全キリスト教国にとっての、改革の先駆者であった。彼が語ることを許されたローマに対する一大抗議は、決して沈黙させることができなかった。その抗議は紛争のきっかけとなって、ついに個人、教会、国家の解放が起こったのである。」(各時代の大争闘下巻 84)



これほどプロテスタント歴史において豊かな国におけるセブンスデー・アドベンチスト改革運動の働きは、ごく当初より非常に困難なものでした。今年、わたしたちは、「明星」が始めた場所で、最終的な改革の働きを確立することができるために、イギリス、ロンドンで世界的な伝道プロジェクトを開催することによって (2013 年 6 月 -8 月)、この働きに大胆かつ決定的な推進力を与えようと計画しています。この国に存続可能な教会を設立することにおいてこの働きが成功するためには、その成功のために自分たちの時間、能力、そして資金を犠牲にするよういのできた多くのボランティアを必要としています。

皆さんがお気づきになるように、この大きさのプロジェクトは、皆さんの継続的なお祈りと、プログラムを助けるボランティアと、また同様に皆さんの資金的な援助が必要です。ロンドンは、ヨーロッパ・ユニオンの中で最大の都市であり、メトロポリタン地域ではおよそ 1300 万の住民がいます。そして、生活するにも働くにも常に世界で最も高い都市の一つに数えられています。このため、皆さんに祈りのうちにこのプロジェクトの必要を考慮していただき、またこの第一安息日ばかりでなく、これから数ヶ月の間、色々な方法でこの働きを支えていただく必要があります。

2013 年のロンドンプロジェクトを成功させるための皆さんの心からの献金に先立ってお礼申し上げます。

世界総会伝道支部

両親と子供（II）

「子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。……父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。」（エペソ 6:1, 4）

「家族の者たちが、父親を家庭の祭司とし、また、父と母とを子供たちの先生とし友だちとして、働きに勉強に礼拝にレクリエーションに、ともに交わることが神のご計画であった。」（教育 297）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 211–242; 253–262

日曜日　*4月28日*

1.　　次世代を養育する

a.　家庭は、どのように改革の働きを始めるのに最適な場所ですか（マラキ 4:5, 6; ルカ 1:17）。

b.　キリストに当てはまるどの預言的な言葉を、忠実な両親もまた自分の子供たちを訓練する際の励ましの源としてわがものと主張することができますか（ヘブル 2:13）。

「親が『見よ、わたしと、主のわたしに賜わった子たちとは、シオンの山にいます万軍の主から与えられたイスラエルのしるしであり、前ぶれである』と言うことができるのは、最も重要なことである（イザヤ 8:18）。もしこれがわたしたちの特権であるならば、自分たちの手に委ねられた働きを成し遂げていることが見られるであろう。わたしたちの子供たちの品性建設にしっかりした木材が使用されていることが見られるであろう。彼らが世の悪に染むことも、汚されることもないことが見られるであろう。彼らの魂のうちには神への愛と畏れがある。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1889 年５月 13 日）

「生活態度に真に神をあらわし、神の約束やいましめが子供の心に感謝と敬神の念を起させる両親、また優美、正義、忍耐によって神の愛と正義と忍耐を子供に伝える両親……はさいわいである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 347）

2.　両親の義務

a.　両親と子供の間に理想的な相互関係をどのように確立することができますか（コロサイ 3:20, 21）。

「実際悪いことをしたときには、それとしてはっきりさせなくてはならないし、そのようなことが再び起きないよう断固とした方針をとる必要がある。しかし、子供たちを意気消沈のままにほうっておいてはならない。自分たちはもっといい子になって、親に信頼されほめられるようになることができるのだという勇気を、持たせてやらねばならない。」（家庭の教育 294, 295）

b.　愛と主の畏れをもって子供たちを祈りのうちに訓練することに関して、何が自分の子供たちに対するわたしたちの義務ですか（箴言 19:18; ヘブル 12:7, 8）。

「親は自分たちの責任を自覚しているであろうか。多くの人々は自分の子供たちに対してつねに持つべき注意深い見守りを見失っているようである。そして彼らに悪感情にふけったり、不従順であることを許している。親は彼ら自身の感情がわきおこるまでほとんど子供たちに注意を払わず、それから彼らを怒って罰するのである。

多くの親は自分の子供たちをなおざりにしてきたことに対して最終的に恐るべき会計報告を出さなければならなくなる。彼らは子供たちの願いや意志を自分たちに従わせなければならないときに、それらに従うことによって彼らの悪感情を助長し、温存してきた。彼らはこれらのことによって、自分たちにも子供たちにも神のご不興をもたらしている。ご両親方、あなたは聖なる言葉に次のように記されていることをお忘れになったのであろうか。『むちを加えない者はその子を憎むのである』（箴言 13:24）。子供たちは訓練される代わりに、なるようになるまま放置されている。かわいそうな子供たちは、10 ヶ月もしくは 12 ヶ月では矯正を知ることも理解することもないと考えられており、非常に早いうちから、頑固さを表わし始める。親は彼らを制したり、正したりすることなく、彼らが悪い気質や感情にふけることを許す。そしてそうすることによって、それらが子供たちの成長と共に成長し、彼らの強さと共に強くなるまで、大事にし、育むのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1854 年 9 月 19 日）

c.　神は、子供たちの羊飼いとして両親に、どの問いをなさいますか（エレミヤ 13:20）。

3. 両親のさらなる責任

a. 男性は、父親の適任者となることができる前に、むすことして、どのような重要不可欠な資質を表わさなければなりませんか（箴言 15:20; 1:5; 13:1; 14:16）。

「親の働きの重要さが十分に認識され、彼らがその聖なる責任について訓練を受けないかぎり、教育によって当然達成されなければならないすべてのことはいつまでたっても達成されない。」（教育 325）

b. 自分の子供に対して、両親が盲目的な愛情にふけったり、あるいは不当な厳しさを表わしたりしないことが、どれほど重要ですか（ヨハネ 10:27; エペソ 6:4）。

「わたしたちは盲目的な愛情にふけるべきでないが、一方不当な厳しさを表わすべきでもない。子供たちは力によって主へ勝ち取ることはできない。彼らを導くことはできるが、追いやることはできない。『わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしについて来る』とキリストは宣言なさる（ヨハネ 10:27）。このお方は、わたしの羊はわたしの声を聞き、従順の道へと強制されるとは、仰せにならない。親は決して自分の子供たちに、過酷さや不合理な強制によって痛みを生じさせてはならない。過酷さは魂をサタンの網へ追い込んでしまう。

鉄のむちではなく、知恵と愛をもって家庭の規則を実施しなさい。子供たちは愛の規則に心からの従順をもって応える。･･･ 彼らの生活をできるだけ幸福なものとしなさい。……心の土壌を愛と愛情の表現によって、やわらかい状態に保ち、そうすることによって、真理の種のために整えなさい。」（両親、教師そして生徒への勧告 114）

「家庭内では強く服従を求めなさい。しかしそうするために、子供といっしょに主を求め、主が来られて支配されることを祈りなさい。子供は罰をあたえなければならないようなことをするかもしれない。しかし、もしあなたがキリストの精神をもって子供を扱うならば、彼らはあなたにしがみつき、主の前にへりくだって、自分の悪かったことをみとめるであろう。それで十分である。そのときはもう罰する必要はない。わたしたちが一人一人の魂に達することができる道を、主が開いておられることを感謝しよう。」（家庭の教育 251）

「権威と愛の力が結合していれば、家庭をしっかりと同時にやさしく治めることができる。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 344）

4.　　子供の義務

a.　両親への関係において、子供には、どのような義務が負わされていますか（エペソ 6:2, 3）。真のクリスチャンの子供は自分の両親に対して、どのようにふるまうかを話し合いなさい（レビ記 19:32）。

「両親を敬うよう子供たちに負わせられた義務は、一生継続するものである。……両親に対するわたしたちの義務は決して終わることがない。両親に対するわたしたちの愛、またわたしたちに対する彼らの愛は年数や距離で計られるものではなく、またわたしたちの責任は決して捨ててよいものではない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 405）

「親は、ほかのだれも受けることのできない愛情と尊敬を受ける資格がある。神は、お与えになった子供たちの責任を親に負わせられた。そして、子供たちが幼いころは、親が子供たちに対して、神の立場に立つことを神ご自身が定められた。……第五条は、子供たちが親を尊敬し、親に従順に従うことを要求しているだけでなく、親を愛し、いたわり、重荷を軽くし、その評判をまもり、老齢の彼らを助け、慰めることを要求している。」（人類のあけぼの上巻 359）

「真のクリスチャンは決して不親切であったり、どんな事情のもとにあっても父や母をおろそかにすることは……ない。

子供らよ、弱くなって自分の世話もできなくなっている両親の晩年を、満足と平安と愛に満ちたものにしてあげなさい。あなたはキリストのために親切と愛といつくしみと寛大なことばだけをかけて、親を墓に下らせてあげなさい。あなたは主があなたを愛し、あわれみ、許されることを願い、病気のときには寝床を備えてもらいたいと思うであろう。それなら人にも自分がしてほしいと思うようにしてあげたらどうだろうか。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 408）

b.　両親の他に、だれが特別な尊敬を持って扱われるべきですか（テモテ第一 5:1, 17; ヘブル 13:17）。

「〔第五条の戒め〕は、また、牧師、統治者その他神が権威をおゆだねになったすべての人を尊敬するように命じている。」（人類のあけぼの上巻 359）

「神はまた特に年老いた人々に対してやさしい尊敬を示すようにお命じになる。『しらがは栄えの冠である、正しく生きることによってそれが得られる』と神は仰せになっている（箴言 16:31）。それは戦いをたたかい、勝利をかち得、重荷に耐え、誘惑に抵抗したことを物語っている。それは休息に近づく疲れた足、まもなくあく座席を物語っている。」（教育 289）

木曜日 *5月2日*

5.　　家庭と安息日

a.　どこで、またどのように家族と安息日は互いにつながりを持っていますか（創世記 1:27, 28; 2:1–3）。

b.　安息日は神と交わるために、家族にどのような機会を提供していますか（出エジプト記 31:13; 20:11）。

「安息日と家庭は同じようにエデンにおいて定められ、神の目的の中にあって切っても切れない密接なつながりを持っている。この日には他の日よりも特にエデンの生活を送ることができる。家族の者たちが、父親を家庭の祭司とし、また、父と母とを子供たちの先生とし友だちとして、働きに勉強に礼拝にレクリエーションに、ともに交わることが神のご計画であった。」（教育 297）

「子供たちに興味を起こさせるために、〔安息日に〕時間をかける必要がある。ちょっと変わったことをすることが彼らを楽しくさせる。子供たちをつれて戸外に散歩に出よう。森の中の日の当たる場所に子供たちとすわって、神のみわざについて語り合うことによって、子供たちの落ちつきのない心に糧（かて）となるものを与えたり、自然界の美しいものに注意を引くことによって、子供たちに愛と崇敬の念を与えたりすることがきる。

安息日を興味深いものとし、毎週めぐってくるのを喜んで迎えるようにすべきである。」（家庭の教育 584）

金曜日 *5月3日*

個人的な復習問題

1.　どのマラキの預言が、クリスチャン家庭において今日なされるべき特別な働きを指し示していますか。
2.　クリスチャンの両親は自分の子供と最上の関係に到達するために、どのように必要な技能を発達させるべきですか。
3.　両親は子供たちが聖書研究においてまじめな関心を示すように、どの程度まで励ますべきですか。
4.　自分の両親を尊ぶために、聖なる指示に従って、子供たちは何をなすべきですか。彼らは自分の両親が年をとったときに、彼らをどのように扱うべきですか。
5.　家族と安息日は、なぜ分かちがたいほど、共につながりを持っているのですか。

第 6 課　　安息日 2013 年 5 月 11 日

家庭における宗教

「主を恐れることは知恵のはじめである。これを行う者はみな良き悟りを得る。主の誉は、とこしえに、うせることはない。」（詩篇 111:10）

「家庭に宗教が必要とされている。これだけが、あまりにもしばしば結婚生活を苦々しいものとしている嘆かわしい悪を防ぐことができる。キリストが治める場所だけが、深く真実な無我の愛が存在できる。そのとき魂は魂と結び合わされ、二人の生活が調和のうちに交じり合うのである。」（教会への証 5 巻 362）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 244–249; 263–276

日曜日　*5 月 5 日*

1.　　重要な原則

a.　真の家庭の宗教の基礎となる原則は、何ですか（詩篇 111:10; ヨブ 28:28）。

「神を自分たちの家庭において第一とし、また自分の子供たちに主を恐れることは知恵の始まりであることを教える父親と母親は、よく秩序だてられ、規律のとれた家族、すなわち神に反逆する代わりに神を愛し、神に従う家族を世に提示することによって、御使たちの前で、また人々の前で、神に栄光を帰す。……そのような家族は、次の約束を主張することができる、『わたしを尊ぶ者を、わたしは尊』ぶ（サムエル記上 2:30）。」（教会への証 5 巻 424）

b.　もし主を畏れることが伴うならば、どのような態度はキリストの宗教を家庭において魅力的なものとしますか（箴言 15:13（上句））。

「家庭を、快活さ、礼儀、愛の存在する場所にしよう。これが家庭を子供たちにとって魅力的にする。……家族のすべての者の自制が、家庭をパラダイスのような場所にする。あなたの部屋をできるかぎり明るくしなさい。子供たちにとって、家庭を地上で最も魅力的な場所にしなさい。」（健康に関する勧告 100）

2. 家庭の宗教

a. アブラハムは自分自身の家庭をどのように治めましたか（創世記 18:18, 19）。わたしたちは彼の模範から、どの教訓を学ぶことができますか。

「家庭の宗教がしっかりしていれば、教会の宗教は非常にすぐれたものとなる。家庭のとりでを守りなさい。あなたがたの家庭を神にささげなさい。それから家庭でクリスチャンにふさわしい言行動作をしなさい。あなたがたが教師であることを覚えて、家庭で親切で寛大で忍耐強くなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 357）

「イエスがあなたがたにとってすべてであられること、イエスの愛があなたがたを忍耐深く、親切で、寛大なものにしていることを、あなたがたの生活によって示し、同時に、アブラハムのように、あなたがたにならうことを子供たちに命じることにおいては堅固であることを示す。」（同上 356）

b. 使徒パウロは、家庭の感化力が教会生活に影響することをどのように確認しましたか（テモテ第一 3:4, 5; テサロニケ第一 2:10–13）。

「教会の繁栄の基礎は家庭できずかれる。家庭を支配している影響力は教会生活の中に持ち込まれる。だから教会の種々の義務はまず家庭で始められなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 357）

c. 子供たちの訓練において、中心的な場所を占めるべき主題は何ですか（コリント第一 2:2; ローマ 16:25, 26）。

「子供たちに大きな伝道地について教え、彼らにキリストの愛について語りなさい。このお方がわたしたちを愛してくださり、わたしたちをご自分の王国でご自分と共に家庭を持ってほしいと望んだがゆえに払ってくださった大いなる犠牲について語りなさい。このお方はわたしたちの世界をご自分の神聖なご臨在をもって祝福するために、平安と光と喜びをもたらすために来られた。しかし、世はこのお方を受け入れず、命の君を死刑に処してしまった。このお方の死は、イエスを信じるべきすべての人々の届くところに、天の宝をもたらすためであった。この栄光に満ちた主題をあなたの子供たちに明らかにしなさい。そして彼らの若い心がキリストの愛によって広くなるとき、彼らが他の人々に真理の尊い光を伝えることにおいて、自分たちの役割を果たすことができるために、彼らに自分たちのささやかな供え物を捧げさせなさい。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 12 月 11 日）

3. 家庭の宗教を教える

a. わたしたちには、自分の子供たちに対してどのような大きな責任がありますか。そして神はわたしたちの努力をどのように祝福してくださいますか（箴言 4:1–8）。

「家庭の宗教を維持する責任は父親と母親にある。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 360）

「神のみ事業における信任の地位を占めている人々は、神聖なみかたちに従って生活を完全なものとすべきである。家庭において、教会において、世の前に、〔教師、牧師、そして医者〕は、生活を変えるクリスチャン原則の力を表わすべきである。」（両親、教師そして生徒への勧告 397）

「神はご自分のみ言葉に心を開く人々のために偉大なことをなしてくださる。そしてそれが魂の宮をとらえるようにしようではないか。」（同上 396）

b. わたしたちの子供たちのために、家庭における宗教的な教えは、何を成し遂げますか（箴言 4:10–13）。親が自分の子供たちに、どのようにイエスに近づくべきかを教えることがどれほど重要か説明しなさい。

「親が子供の教育を熱心に怠りなくし、神のみさかえを表わすことにひたすら心を用いて子供を訓練すれば、彼らは神に協力しているのである。そして神もまた、キリストがそのために命を捨てられた子供たちの魂を救うことに協力してくださる。

宗教教育は、一般教育よりもはるかに多くのことを意味する。それはあなたがたが子供たちといっしょに祈って、イエスにどのように近づいて自分の心のすべての願いを告げるべきかを教えることを意味する。イエスがあなたがたにとってすべてであられること、イエスの愛があなたがたを忍耐深く、親切で、寛大なものにしていることを、あなたがたの生活によって示し、同時に、アプラハムのように……示すべきことを意味している。

家庭生活におけるあなたがたの行動は、そのまま、天の記録書に記録される。天の聖徒になりたいと思う者は、まず自分の家庭で聖徒とならなければならない。……両親がた、あなたがたの信仰が単なることば上のものではなく、実のあるものとなるようにしなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 355, 356）

「真の宗教の生きた原則がなければ、また贖い主にいかに仕え、栄光を帰すかについての知識がなければ、教育は有益どころか有害なものである。」（両親、教師そして生徒への勧告 412）

4. 聖書の知識は必要不可欠

a. どれくらい早くから、わたしたちは神の知識の光を子供たちにもたらすべきですか（テモテ第二 3:15）。

「子供たちが理解できるようになったら、親はさっそく彼らがベツレヘムの赤ちゃんについての尊い真理を知ることができるように、イエスの物語を話してきかせなければならない。子供たちの年令と能力に適した単純な敬神の心情を彼らの心に印象づけなさい。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 359）

b. わたしたちは親として、聖書を子供たちに教えることにおいて、どれほど熱心でなければなりませんか（イザヤ 34:16（上句）；申命記 6:6–9）。

c. 家族の宗教は何にありますか（箴言 22:6）。

「家庭の宗教は、子供を主の薫陶と訓戒とによって育てることにある。家族の者はひとり残らずキリストの教えによってはぐくまれるべきである。……ひとりひとりの魂の利害を厳重に見守らなければならない。」（同上 355）

「家庭の宗教はすばらしい力である。妻に対する夫の態度、また夫に対する妻の態度で、家庭生活を天の家庭にはいる準備とすることができる。

キリストの愛に満たされた心は互いに遠く離れることはできない。宗教は愛である。だからクリスチャンの家庭は愛が支配し、愛が思いやりある親切なことばや行為やつつましい礼儀正しさとなって表わされる所である。」（同上 92）

「家庭をあるべきすがたに、すなわち天の家庭の象徴にするために努力するとき、それはさらに広い範囲における働きをするようわたしたちを準備する。互いにやさしい思いやりを示し合うことによって与えられた教育は、真の宗教の原則を教える必要のある心にどう近づけばよいかを理解させる。教会は主の家族すべてを、特に青年たちを注意深く保護するために、修練された霊的力をできるだけ多く必要としている。家庭で実践された真理は、家庭外での無我の働きの中に表わされる。家庭で宗教を実行する者は、どこへ行っても明るく輝く光となる。」（同上 32）

木曜日 *5月9日*

5.　　因果関係

a.　子供の訓練に関して、夫と妻の間の協力の実例を述べなさい（士師記 13:8–12）。自分の子供たちを訓練する資格を得る前に、親は何について確かめるべきですか（申命記 4:9）。

「家庭の父親は、霊的教育をほどこす責任を、全部母親にまかせてはならない。父親と母親によって大きな仕事がなされなければならない。彼らは、子供たちを重大なさばきのために準備するにあたって、おのおのの役割を巣たすべきである。」（アドベンチスト・ホーム 360）

b.　真の家庭の宗教は、社会にどのような感化力を及ぼしますか（申命記 4:5–8）。

「もし宗教が社会に影響を及ぼすべきであるとすれば、まず、家庭にその影響を及ぼさなければならない。もし子供たちが家庭で神を愛し神を恐れるように訓練されたなら、彼らが社会に出て行ったときに彼ら自身の家族を神のために訓練する準備ができているはずであり、そのことによって真理の諸原則が社会に植えつけられ、世に強力な影響を及ぼすはずである。家庭教育から宗教を切り離すべきではない。」（同上 357）

金曜日 *5月10日*

個人的な復習問題

1. **家庭学校において、なぜ主を畏れることが快活さと結び合わされるべきなのですか。**
2. **わたしたちに良い家庭宗教があるとき、教会に何があるようになりますか。**
3. **自分の子供たちを訓練するときに、神のみ言葉に自分の心を開く両親のために、このお方は何をなしてくださいますか。**
4. **わたしたちは主の薫陶と訓戒のうちに子供たちを育てるべきです。それは何を意味していますか。**
5. **親は自分の子供たちのうちにどの諸原則を植えつけるべきですか。**

家庭の雰囲気

「すべて主をおそれ、主の道に歩む者はさいわいである。……またあなたの子らの子を見るであろう。どうぞ、イスラエルの上に平安があるように。」（詩篇 128:1, 6）

「家庭は喜びと礼儀と愛が宿るところであるべきである。こうした美徳があるときに幸福と平安が来る。……忍耐と感謝と愛が心に保たれるようにしなさい。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 362）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 277–281; 341–353

日曜日　*5 月 12 日*

1.　　家庭におけるキリストのご臨在

a.　家庭におけるキリストのご臨在はどのように表されますか（詩篇 16:11; ガラテヤ 5:22, 23）。子供たちが親と神を愛する家庭では、何が備わっていますか。

「愛と同情と思いやりで美化された家庭は、天使が好んで訪問するところであり、神があがめられるところである。注意深く守られたクリスチャン家庭で幼年時代や青年時代に受けた影響は、世の腐敗から守る最も確かな保護手段である。このようなふんいきを持つ家庭の中で、子供は地上の両親と天の父を愛することを学ぶ。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 7）

b.　どの範囲まで、日ごとの聖化は、家庭におけるクリスチャン品性の形成において役に立ちますか（テサロニケ第二 2:13（下句）；ヨハネ 16:13（上句））。

「諸教会は、家庭生活における実践的な宗教に関して啓発される必要がある。何度もくりかえして、徳のある生活を送る必要性、聖化された心を持つ必要性、キリストのみかたちにますます一致していくことが表わされる必要性が、民に提示されなければならない。彼らは聖化の働きが一生の働きであることを悟るであろうか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1892 年 5 月 24 日）

2.　適切な態度

a.　すべてのクリスチャン家庭において避けるべき、二つの行き過ぎは何ですか（イザヤ 3:16; 箴言 23:21（下句））。

「わたしたちは不必要な装飾や虚飾に警戒しなければならないと同時に、自分の外観に対して全然無関心、不注意であってはならない。わたしたちの身のまわりや家の中はさっぱりとして魅力的でなければならない。青年に、批判を受けない、神と真理をあがめるような身なりをすることの重要性を教えるべきである。……

神はそれがだれであっても、だらしがなかったり怠慢であったり、不徹底であることをよろこばれない。こういう欠点は重大な悪である。夫がせいとんを好み、子供がよくしつけられ家庭が規則正しくあることを愛する人であれば、そうした欠点は妻に対する彼の愛情を失わせる。妻や母親は、せいとんを愛し、威厳を持ち、家の中を要領よく処理しなければ、家庭を快適に幸福にすることはできない。だからこういう面において足りない点のある人は、さっそく自分を訓練して、最も欠けているものを養い育てなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 11, 12）

b.　真の家庭の訓練によって、どの誘惑に抵抗すべきですか（エペソ 4:17）。

「自然で気取らない子供がいちばん魅力的である。子供たちに特別な注意を払ったり、彼らの賢い物言いを彼らの前で繰り返したりすることは賢明でない。彼らの外観や言葉や行動をほめることによって、虚無を助長すべきでない。また彼らに高価で人目を引くような衣服を着せるべきではない。これが彼らのうちに誇りを助長し、彼らの仲間の心のうちに妬みを引き起こすのである。子供たちに真の飾りは外面ではないことを教えなさい。……

小さい子供たちは子供らしい単純さのうちに教育されるべきである。彼らは小さく役に立つ義務や、彼らの年齢に合ったごく自然な楽しみや経験に満足するよう訓練されるべきである。」（両親、教師そして生徒への勧告 141, 142）

「父親と母親よ、あなたがたはどうであろうか。あなたは現世のものに見とれて、自分の子供たちの永遠の利益のことを忘れているであろうか。あるいは恵みの御座に来て、家族の上に神の憐れみと祝福を求めて神に嘆願し、身を悩ませているであろうか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1886 年 12 月 21 日）

3. 規則の重要性

a. よく規律の取れたすべてのクリスチャン家庭において中心的な部分として、何がありますか（箴言 6:20–23）。

「どのクリスチャン家庭にも規則がなければならない。そして両親はお互いに対することば使いや態度において、彼らが子供に期待しているようなひととなりの生きた、尊い模範とならなければならない。いつも清潔なことばを語り、クリスチャンらしく礼儀正しくふるまうべきである。青年や子供に自分を尊重し、神と原則に忠実であるように教えよう。神の律法を尊び、それに服従することを教えよう。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 4, 5）

「母親は堅固さと決意を持っていなければならない。彼女は岩のように固く、正しいことから揺れ動いてはならない。彼女の律法と規則はいつでもあらゆる危険の下でも実践されるべきである。しかし、彼女はただ親切と柔和をもってこれをなすことができる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1886 年 12 月 21 日）

b. よく秩序立てられ、よく規律の取れた家族は、自分たちの周囲の世に、どのような感化を及ぼしますか（テモテ第一 3:4, 5; 創世記 18:18, 19）。

「一つのよく秩序立てられ、よく規律の取れた家族は、説くことのできるあらゆる説教よりも、キリスト教のために多くを語る。このような家族は、親が神の指示に従うことに成功したこと、また彼らの子供たちが教会でこのお方に奉仕するようになる証拠を示している。彼らの感化力は増し加わる。なぜなら、彼らは与え、また与えるために受けるからである。父親と母親は子供たちが助け手であることを見出し、彼らは家庭で受けた教えを他の人々に伝えるのである。彼らの住んでいる近隣は助けを受ける。なぜなら、その中で彼らは現世においても永遠においても豊かにされるからである。全家族が主人であるお方の奉仕に携わる。そして彼らの信心深い模範によって、他の人々はこのお方の群れ、すなわちこのお方の美しい群れを扱う際に、神に忠実で真実であろうと鼓舞される。」（同上 1899 年 6 月 6 日）

「すべての男、すべての女、すべての子供は、真剣でなければならない。今、失望している時間はない。なぜなら、悪がかつてなかったほど激しく押し迫り、わたしたちは後退することによって領地を失うわけにはいかないからである。ナザレのイエス・キリストのみ名によって、わたしたちは正しい側に結集しなければならない。そして自分の子供たちがわたしたちのかいなから出て、またわたしたちの家庭から出て、敵の隊列に渡ることがないように奮闘しなければならない。わたしたちはそれを許すことができない。そしてわたしたちは自分たちのうちにあるあらゆる力と信仰をもって、神のために働き、天のために働かなければならない。」（同上 1886 年 12 月 21 日）

4. 地上における天国

a. 子供たちは、あまりにもしばしば、家庭の「平和を乱す者」として考えられています。親はこの状況を改善するために、何ができますか（詩篇 128:1, 3, 6; 箴言 31:27, 28）。

「家庭はその言葉の意味するとおりのものとなるべきである。それは地上における小さな天国、すなわち愛情が注意深く抑制される代わりに、培われる場所となるべきである。」（教会への証 3 巻 539）

「家庭のふんいきはほとんど両親が作り出すものである。……品性の改変はいまなされなければならない。わたしたちの毎日の生活は、わたしたちの運命を決定しているのである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 4）

「あなたは子供たちにキリストの許へ来るように嘆願し、それから、だれの目も見ず、誰のみみも聞かない場所へ行って、彼らのために神の御前に自分の嘆願を注ぎ出すであろうか。なぜ、あなたの家庭は改心していない子供たちでいっぱいなのか。―それは、神のご要求について自覚がないからである。それはキリストが彼らを買われたのであり、彼らはこのお方の子供なのだという自覚がないからである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1886 年 12 月 21 日）

b. どの経験が、家族のすべての者の目的となるべきですか（ピリピ 2:1–5）。親は家庭をどのように魅力的な場所にすることができますか。

「自分の子供たちの将来の幸福と利益を注意ぶかく守るという重大な責任が親に委譲されている一方、家庭をできるかぎり魅力的にするという義務もまた彼らのものである。これは土地や金銭を得ることよりもはるかに重大である。家庭は日光に欠いてはならない。家庭の印象が子供たちの心のうちに生きつづけるようにすべきである。こうして彼らが幼少の家庭を天に次ぐ平安と幸福の場所として振り返ることができるためである。それから今度は、彼らが成熟したとき、彼らが自分の親にとって慰めと祝福となるよう努力すべきである。」（同上 1886 年 2 月 2 日）

「家庭は子供にとって世界中で最も魅力的な場所であり、母親の存在は最大の魅力であるべきである。子供は敏感な愛の性質を持っている。たやすく喜ばせることもでき、不快にさせることもできる。母親は愛のこもった言葉と行為と優しいしつけをもって子供を自分の心に結びつけることができる。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 358）

木曜日 *5月16日*

5.　　効果的な家庭訓練

a.　キリストの幼少の簡潔な記録から、わたしたちは何を学ぶことができますか（ルカ 2:40, 52）。

「キリストの幼年期と青年期に関する聖書の沈黙に、親と子供が学ぶべき重要な教訓がある。このお方は万事におけるわたしたちの模範であられる。このお方の幼年期と青年時代の生活にわずかな注意しか払われていないことは、子供にとって同様、親にとっても模範である。子供時代と青年時代が、静かであればあるほど、また注目されなければされないほど、また自然で不自然な興奮から離れているほど、子供たちにとっては安全であり、純潔と自然な単純さと真の道徳的価値のある品性を形成するために望ましいのである。」（今日のわたしの生涯 299）

「子供の生活が、静かで単純なものであればあるほど、すなわち不自然な刺激から離れて自然との調和の中にあればあるほど、その知力、体力、また霊的な力は順調に発達する。」（家庭の教育 133）

b.　キリストはどのように、教えと模範によって、クリスチャンがいつも祈るべきことをお教えになりましたか（マタイ 14:23; ルカ 6:12; 18:1）。

「ひそかな祈りの場所を持ちなさい。イエスは神とのまじわりの場所をきめておられたが、わたしたちもそうすべきである。わたしたちは、どんなささやかな所でもよいから、ただひとり神とともなることのできる場所へたびたび退く必要がある。」（祝福の山 103）

金曜日 *5月17日*

個人的な復習問題

1. **どの経験が、日ごとに家庭の環の中でキリストの生活を模倣しようと奮闘している人々の間で見られるべきですか。**
2. **家庭の状況を改善するいくつかの要素は何ですか。**
3. **家族のすべての者のために、なぜ規則が必要なのですか。**
4. **子供たちが成長したとき、彼らは自分たちの育ったクリスチャン家庭をどのように振り返るようになりますか。**
5. **親は自分の家庭が、子供たちにとって霊的に安全な環境であることをどのように確かめることができますか。**

第８課　　安息日 2013 年 5 月 25 日

訓練学校としての家庭

「あなたがたはわたしが、きょう、あなたがたに命じるこのすべての言葉を心におさめ、子供たちにもこの律法のすべての言葉を守り行うことを命じなければならない。」（申命記 32:46）

「真の教育とは伝道者を養成することであって、神のむすこ、娘はすべて伝道者となるように召された者である。わたしたちは神と人とに奉仕するために召されている。そしてこの働きに適した者となることが、わたしたちの教育の真の目的でなければならない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 364）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 355–364; 479–494

日曜日　*5 月 19 日*

1.　　奉仕のための訓練

a.　キリストはご自分に向くすべての魂のために、どのようなご計画とご目的を持っておられますか（ヨハネ 17:18; マタイ 20:27, 28; 10:16）。

「この〔神と人類同胞に奉仕するという〕目的を、クリスチャンの両親、教師はいつも覚えていなければならない。自分の子供がどういう方面で奉仕するかはわからないし、生涯を家庭内ですごすか、普通一般の職業に携わるか、あるいは異教の国へ福音の教師としておもむくかわからないが、皆同じく神の伝道者として、この世に対する恵みの使者となるように召されているのである。

子供や青年は……キリストの傍に立って、無我の奉仕をするのに助けとなる教育を受けなければならない。……利己追求と放縦な生活に対する世の誘惑がいたる所に存在し、神にあがなわれた者のために備えられた道からおびき出そうとして呼びかけている。その生涯が祝福となるか、のろいとなるかは選択次第である。力が余っているため、使ったことがない才能をためしてみたいと切望し、そのあり余る元気のはけ口をどこかに見つけ出さなければならない。彼らは善の方向か、悪の方向かのどちらかへ活動的である。神のみ言葉は人の活動を抑圧せず、正しく導く。……

わたしたちは親として、またクリスチャンとして子供に正しい指導を与える義務がある。注意深く、賢明に、そして優しく、キリストのような奉仕の道へ子供を導かなければならない。……『仕えられるためではなく、仕える』ことをするのが、わたしたちの学ぶべき、また教えるべき大きな教訓である（マタイ 20:28）。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 364-366）

2.　訓練学校としての家庭

a.　イエスの家庭の訓練と当時の教育者の訓練との間に、どのような対比が示されていますか（ルカ 2:40; ヨハネ 7:15; マタイ 7:29）。奉仕のための訓練において家庭の重要性を話し合いなさい。

「イエスは家庭で教育を受けられた。イエスの母が人間としての最初の教師であり、彼女のくちびるから、また預言者の書物からキリストは天のことについて学ばれた。……そのころの教育者は見せびらかしや見えを張ることによって尊敬を得ようとした。こうした世の様に対しイエスの生涯は著しく対照的であった。……『幼な子は、ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神の恵みがその上にあった』（ルカ 2:40）。このような準備の後、キリストは伝道を始め、人と接触するときには絶えず彼らを祝し、人を変化させる力を及ぼされたが、それは世界がいままで見たこともないところであった。

「家庭は子供の最初の学校であって、奉仕の生涯の基礎が築かれるのはここにおいてである。その原則は単に理論だけで教えるべきではない。これは全生涯の教育を形づくるべきである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 368, 369）

b.　働くことを好まない人のために賢人はどのような勧告を持っていますか（箴言 6:6–11）。どのようにして有用性を家庭生活に適用することができますか。

「ごく小さいときから人を助けることを教え、体力と思考力が十分に発達したら、家庭で仕事を与えるべきである。父母を助け、自分を制し、統御し、自分の便宜を計る前に他人の幸福と便宜を考え、機会をとらえて兄弟姉妹や遊び友だちを元気づけ、また助け、老人や病人や不幸のある人に親切を示すように励まさなければならない。真の奉仕の精神が家庭にもっとみなぎれば、それだけ子供の生涯にもそれが養われ、子供は他人を益するための奉仕や犠牲に喜びを見いだすことを学ぶものである。」（同上 370）

3. 家庭の取扱説明書

a. 自分の子供たちを訓練する際に、親はどの特別な教えを心に留めておくべきですか（ローマ 14:19; ピリピ 2:15; ユダ 3）。

「聖書は、子供たちを教育する重要な働きに関して、明白な指示を与えている。〔申命記 6:4–6, 7–9; 7:3, 4, 6–8 引用〕。……ここに、わたしたちの時代にまで及ぶ明確な指示がある。神はこの終わりの時代にわたしたちに語っておられる。そしてこのお方を理解し、このお方に従うのである。」（教会への証 5 巻 328）

「真理を悟り、その重要性を感じ、また神の事柄に経験のある者は、自分の子供たちに健全な教理を教えなければならない。彼らは子供たちにわたしたちの信仰の偉大な柱、すなわち、なぜわたしたちがセブンスデー・アドベンチストなのか、なぜわたしたちがイスラエルの子として、地のおもての他のすべての民から分離し区別された特別な民、聖なる国民となるために呼び出されたのかそのわけを知らせなければならない。これらの事柄は、容易に理解できるように単純な言葉で子供たちに説明されるべきである。そして、彼らが年齢と共に成長するとき、与える教訓は、真理の基礎が広く深く据えられるまで、彼らの増し加わる能力に応じたものとすべきである。」（同上 330）

「神は青年にあまり大望をいだくなとは言われていない。人間を真に社会的に成功させ、誉を得させる品性の要素、すなわち、何かもっと益になることをしたいと望む心や、抑えがたい意志や、不屈の熱心、勤勉な努力、しんぼう強い忍耐の精神をくじいてはならない。単に利己的でこの世的な利益に比べると天地雲泥の相違をもつ、きわめて高度の目的遂行のため、青年は神の恵みに導かれなければならない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 365）

b. 親の日ごとの忠告者は何であるべきですか（詩篇 119:105, 130）。

「神のみ言葉が〔親の〕日ごとの忠告者であるべきである。それは親が自分の子供の教育に関して間違える必要のない教えを与える。しかし、無関心や怠慢を許すことはない。神の律法が偉大な道徳的標準として子供たちの思いの前に保たれるべきである。彼らが起きる時も、座する時も、出るときも入るときも、この律法が人生の偉大な規則として彼らに教えられるべきである。そしてその原則は彼らのすべての経験に織り込まれるべきである。彼らは正直で、真実で、穏やかで、倹約家で、勤勉であるべきことを教えられなければならない。これが主の薫陶と訓戒とによって彼らを育てるということである。これが彼らの足を義務と安全の道に固定することである。」（教会への証 5 巻 329）

4. 当局への敬意

a. 第五条は何を要求しますか（出エジプト記 20:12）。親の権威に関してイサクになされた忠実な親の訓練の効果について、話し合いなさい（創世記 24:1–4, 67）。

「子供が親の権威を敬い、親に従うようになるまで、彼らを訓練し、教育し、しつけなければならない。こうして神の権威に対する尊敬の思いが彼らの心に植えつけられ、家庭教育は天の家族に加わる準備教育となる。」（家庭の教育 229）

「両親は子供たちの将来の幸福のために自分たちの責任を見落してはならない。イサクが父親の意見に服従したことは、彼が従順な生活を愛するように教育されていた結果であった。アブラハムは子供たちに親の権威を重んじるように要求したが、一方彼の日常生活は、その権威が利己的でもなければ独断的な支配でもなく、愛に根ざし、彼らの安寧と幸福とを念頭においたものであることを証明していた。」（青年への使命 467, 468）

「『親は息子や娘の思いや気持ちを考慮せずに、伴侶を選ぶべきであろうか』とあなたは尋ねる。わたしはあるべきかたちに質問を変えてあなたに尋ねる、息子や娘はまず親に相談もせずに伴侶を選ぶべきであろうか、親が少しでも子供に愛情を持っているならば、そのような手段が親の幸福に大いに影響を及ぼさずにはいないときに。また子供は自分の親の勧告や嘆願にもかかわらず、あくまでも自分自身の道に従っていくべきであろうか。わたしは断固として応える、否、もし彼が決して結婚しないのでなければ。第五条はそのような道を禁じている。」（教会への証 5 巻 108）

b. イシマエルの品性をどのように描写することができますか（創世記 16:12）。イシマエルにほどこしたアブラハムの訓練の効果について話し合いなさい。

「アブラハムの初期の訓育は、イシマエルに効果がなかったわけではない。しかし、彼の妻たちの影響によって彼の家庭で偶像礼拝が根をおろした。彼は、父親から離れて、神に対する愛も恐れもない家庭の争闘と競争に憤激して、『その手はすべての人に逆らい、すべての人の手は彼に逆ら』うという、粗暴で略奪を事とするさばくの酋長の生活にはいってしまったのである（創世記 16:12）。イシマエルは、晩年に、その悪行を悔いて、彼の父の神に帰った。しかし、彼が子孫に与えた品性の特徴は消えなかった。彼の子孫は強大な国民となったが、それは、粗暴な異邦の民族で、常にイサクの子孫を悩まし苦しめるものとなった。」（人類のあけぼの上巻 185）

木曜日

5月23日

5.　　祝福の約束

a.　子供が神の知識を得ることができるように、主は彼らの親に何を知らせてくださいましたか（申命記 32:46; 11:18, 19, 21）。

「わたしたちもイスラエル人に数えられている。したがって、昔のイスラエル人に与えられた子供の教育、養育に関する教訓や服従によって受けた祝福の約束はすべてわたしたちのためである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 374）

「神のさばきがエジプトの地にあったとき、イスラエルの民が子供たちを家の中にいれておいたように、この危機の時代にあたってわたしたちも子供たちを世から隔離し、別にしておかなくてはならない。神の戒めはわたしたちが考えている以上に重要だということを、子供たちに教えよう。それを守る人たちは、神の律法を犯す人々の行いをまねるようなことはしない。」（家庭の教育 322, 323）

b.　神はご自分の奉仕のために献身する人々をどれほど愛されますか（ミカ 5:7, 8; ヨハネ 17:22, 23）。

「なんという驚くべき言葉であろう。ほとんど信仰では把握しきれないほどの言葉である。全宇宙の創造主が神への奉仕に献身する者を、自分のみ子を愛されるように愛してくださるのである。この地上において、今日でも神の豊かな恵みは驚くばかり与えられている。神は天の栄光の王をわたしたちに与え、それとともにあらゆる天の宝をおさずけになった。……わたしたちはその恵みを受ける者として品性を高尚にし、発展向上させるものはなんでも受けることを望まれている。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 375）

金曜日

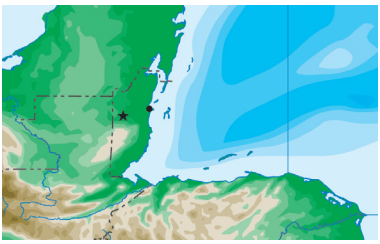
5月24日

個人的な復習問題

1. **わたしたちの子供にクリスチャン奉仕の道へと正しい指示を与えることがどれほど重要ですか。**
2. **どのような意味において、またなぜ、伝道の訓練が家庭で始められるべきなのですか**
3. **何がクリスチャンの子供の訓練の基礎ですか。いくつか述べなさい。**
4. **イサクとイシマエルの間にある顕著な相違に、何を認めることができますか。**
5. **神は親を通して、どのように子供たちに手を差し伸べたいと望んでおられますか。**

第一安息日献金

ベリーズにおける本部のために



ベリーズは、中央アメリカの北東海岸に位置しています。8,867 平方マイル(22,965 平方キロメートル）の面積を持ち、アメリカ本土ではエルサルバドルに次いで最も小さい国家であり、また人口も 328,000 と最も少ないです。北はメキシコに面し、南と西はグアテマラ、そして東はカリブ海に面していますが、その海岸線は 174 マイル（280 キロメートル）延びています。ベリーズはかつて 1973 年まで英国領ホンジュラスとして知られていましたが、アメリカ本土の最後の英国植民地でした。1981 年 9 月 21 日に独立を果たしましたが、連邦の一員としてとどまりました。

改革のメッセージは、ホンジュラスからの教会家族が 1990 年 1 月にベリーズへ移民してきた時に始まりました。彼らの伝道の働きを通して、新しい魂に福音のメッセージが届き、1994 年 3 月に初めのバプテスマ式が行われました。まもなく、働きのさらなる進展のために働き人がホンジュラスから派遣され、こうしてベリーズミッション組織への道がしかれました。1998 年にわたしたちは教会を法人化することに決定し、2001 年にそれが承認されました。はじめは礼拝の場所を賃貸で借りましたが、自分自身の教会の建物を持ちたいという願いはわたしたちの心の中で燃えていました。

神の恵みにより、世界中の兄弟姉妹や友人たちの助けをもって、わたしたちはベリーズに最上の地所を購入することができ、自分たちの本部のために建物を建て始めることができました。しかしながら、ベリーズの町は、海抜以下の沼地のような地域です。ベリーズに建物をたてるためには、建物の区画を埋めて、満潮時の水位よりも高くするために、トラック何台分もの固い土、砂、砂利が必要です。堅固な建物の基礎もまた必要とされています。わたしたちは前回の第一安息日学校の献金に感謝していますが、このプロジェクトを完成させるためには、さらなる資金が必要です。

ですから、わたしたちは主が皆さんの心に触れて、ベリーズのために第一安息日献金が集められるときに惜しみなく分け与えてくださるように祈ります。

「金銭、時間、感化力など、神のみ手からさずけられた賜物すべてを、彼らはただ福音のわざを進展させる手段として重んじるのである。」（患難から栄光へ上巻 71）

ベリーズの皆さんの兄弟姉妹より

家庭という会社

「わが子よ、あなたの父の戒めを守り、あなたの母の教を捨てるな。」（箴言 6:20）

「子供たちの体質と道徳的気質を守るために、親に聖なる委託物が任されている。それは神経系の均整がよくとれて魂が危険にさらされないためである。父親と母親は命の法則を理解すべきである。そして彼らが無知を通して、自分の子供たちのうちに悪い傾向が発達するのを許すことがないためである。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育の基礎 143）

推奨文献： 家庭の教育 251–278

日曜日　*5月26日*

1.　神と御使に喜ばれる光景

a.　家族はどのように義務を成し遂げるべきですか（コリント第一 14:40）。

「よく統制の取れた秩序正しい家族は、神と奉仕する天使たちの目に喜ばしい。あなたがたはどのようにして秩序ある快適で心地良い家庭にするかを学ばなければならない。それから、家庭をふさわしい権威をもって飾りなさい。そうすればその精神が子供たちに受け入れられ、秩序、規律、従順が、あなたがた両者によりもっとたやすく得られるようになる。」（教会への証 2 巻 259）

「家庭で神を第一にし、子供たちに神を恐れることが知恵の始まりであることを教え、よく治められ、よく訓練された家族、神にさからう代わりに神を愛し神に従う家族を示す父母は、天使と世の人々に神の栄えを表わす。彼らの家庭ではキリストは見知らぬお方ではない。キリストの名前は尊敬され、あがめられる家庭の名前である。天使たちは神が支配しておられる家庭をよろこぶ。そしてこういう家庭では、子供たちは宗教と、聖書と、彼らの造り主を尊重するように教えられる。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 361）

「家庭という会社はきちんと組織されていなければならない。父親と母親は彼らの責任を共に考え、明白な理解をもって彼らの務めを行なわなければならない。彼らの間に不一致があってはならない。父親も母親も、子供たちの前で決して相手の計画や判断を批判してはならない。」（同上 351）

2.　家庭という会社における父親

a. わたしたちの家庭における子供と青年たちの周りをどのような感化力が取り囲むべきですか（ローマ 12:10; エペソ 5:2）。この面における父親の役割を説明しなさい。

「子供は父に支持と指導を仰ぐ。父は人生に関する正しい観念と家庭を包むべき感化と交わりに関して正しい考えを持たなければならないが、しかし何よりもまず、神の愛と神を恐れる気持ちとみことばの教えによって支配されていなければならない。それは子供の足を正しい道に導きうるためである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 229, 230）

b. 何によって父親は家庭を幸福で平安な場所にすることができますか（ピリピ 2:5）。どのようにして忠実な家庭の頭が、自分の家族に対する責任を果たすかについて話し合いなさい。

「父親は家庭を幸福にするために自分の分を果たさねばならない。どんなに苦労があり、仕事の困難があっても、そのために家庭を暗くしてはならない。微笑と感じのいいことばを語りながら家にはいるべきである。」（同上 230）

「父親は大きくなりすぎたしつけのない少年としてではなくて、りっぱな品性と抑制された感情を持つ人として立たなければならない。彼は正しい道徳教育を受けなければならない。家庭における彼の行動は神のことばの純粋な原則に導かれ、抑制されたものでなければならない。」（同上 231, 232）

c. 夫であり父親である者の側におけるどのような態度が、家庭の成功に寄与しますか（コリント第一 11:1）。

「夫であり、父である者は家庭の長である。妻は愛と同情を彼に求め、子供の教育の助けを求める……家庭における父親の感化がどんなものであるかは、唯一のまことの神と神につかわされたイエス・キリストについての彼の知識によって決まる。」（同上 229, 231）

「主は妻のかしらである夫が、彼女の保護者となることをお定めになった。彼は教会のかしら、宗教的な団体の救い主であられるキリストのように、家族の者を一つに結ぶ家庭の帯金である。」（同上 233, 234）

3. 家庭という会社の母親

a. どの意味において、母親の義務は、父親の義務よりも神聖ですか。例を挙げなさい（士師記 13:9–12）。

「世界は名前だけの母親ではなく、言葉の意味するとおりの母親を必要としている。女性の義務は男性の義務よりも神聖できよいといっても言いすぎではない。女性は自分の仕事の神聖さを認めて、神の力、神を恐れる念をもってその生涯の使命を果たさなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 253）

b. サムエルの母親であるハンナは、どのような方法で、今日の母親の有益な模範として奉仕していますか（サムエル記上 1:11）。

「ハンナには、どんな報いが与えられたことであろう。そして、彼女の模範は、忠実であることに対してなんという激励を与えていることであろう。測り知れない価値のある機会と、無限に尊い有利な立場とが、すべての母親にゆだねられている。……母親には、その感化力によって世界を祝福するという特権がある。そして、そうすれば、彼女自身の心にも喜びがわくのである。」（人類のあけぼの下巻 225, 226）。

c. なぜ善のための母親の力は、神に次いで、家族と社会において知られるもっとも強力な祝福なのですか。どの範囲に及んで、母親と子供はもっと優しい絆によって結ばれていますか。例を挙げなさい（テモテ第二 1:5）。

「母親は、家族をキリスト教化する神の代理者である。彼女は聖書の宗教の模範を示し、その影響が日常のつとめや娯楽において、どのようにわたしたちを支配すべきであるかを示し、子供たちに神の賜物である信仰を通して、恵みによってのみ救われ得ることを教えなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 258）

「母親よ、あなたの感化力と模範が自分の子供の品性と運命に影響を与えているという事実に目覚めなさい。そしてあなたの責任をかんがみて、均整の取れた思いと純潔な品性を発達させ、ただ真実で、善良で、美しいものだけを反映させなさい。

あなたの同情深いあがない主は、愛と同情をもってあなたを見守っておられ、あなたの祈りに答え、あなたの必要としている助けを差し出す用意ができている。このお方はすべての母親の心の重荷をご存知であり、あらゆる危急時における最上の友であられる。」（キリストを映して 170）

4. 他の要素

a. わたしたちの親の義務において何が重要不可欠ですか（マルコ 13:33; 創世記 12:8; 13:18）。

「キリストはご自分の弟子たちのために、彼らが世から取り去られるようにではなく彼らが悪から守られるようにと祈られた。すなわち、彼らがいたるところで直面する誘惑に屈することから守られるように祈られたのである。これがすべての父親と母親によって捧げられるべき祈りである。しかし、彼らはこのように子供たちのために神に嘆願したからといって、その後に彼らがしたいように放っておくのであろうか。彼らは食欲が支配権を得るまで甘やかしておきながら、その後で子供たちを抑制することを期待するのであろうか。―否、節制と自制はゆりかごの時から教えられるべきである。」（クリスチャン教育 166）

b. 親はどのように自分の家庭を「祈りの家」とすることができますか（イザヤ 56:7; 歴代志上 16:40）。今日、規則正しい家族の祈りの恩恵について話し合いなさい。

「もしすべての家庭が祈りの家となるべきときがあるとすれば、それは今である。父親と母親は自分と子供たちのための謙遜な嘆願のうちに自分たちの心を神に向かってあげるべきである。」（同上 221）

c. 自分の子供たちのために他に何をなすことを覚えているべきですか（マラキ 3:16（上句）。わたしたちはどの警告に注意を払うべきですか。

「L 兄弟、……あなたは自分の妻と子供に賢明にまた思慮深く話していない。あなたは親切と優しさを培うべきである。あなたの子供たちは自分たちの前に最上の感化力と模範を得てこなかった。彼らがあなたを支配するのではなく、あなたが彼らを支配すべきであるが、荒々しく横柄にではなく、堅固さと目的の安定性をもってすべきである。

L 姉妹、あなたの前には克服するための大きな闘いがある。あなたは自己が勝利を維持するのを許してきた。あなたの頑固な意志は、あなたの最大の敵である。あなたには抑制されていない気質があり、あなたは自分の舌を制していない。自制の欠如があなたとあなたの家族に大きな傷となってきた。幸福と静けさと平安があなたの住まいに宿っていたことがあるが、ときどきほんのわずかな期間だけであった。あなたの意志がさまたげられると、あなたは簡単にいらだち、それから悪魔があなたを捕らえたかのように語り、行動する。天使たちは怒りの言葉が交わされる不調和な光景からは向きを変える。」（教会への証 2 巻 78, 79）

木曜日 *5月30日*

5.　特別な指示

a.　妻と子供たちへの優しい心遣いについてのどの教訓を、クリスチャンの父親はヤコブの模範から学ぶべきですか（創世記 33:13, 14）。

「一般の父親は、子供を自分にひきつけ、結びつける絶好の機会をむだにしている。彼は仕事から家に帰ってきたときに、子供たちとしばらく過ごすことが楽しい変化であることを知らねばならない。

父親たちは、子供たちと交わり、彼らの幼い問題を理解し、愛という強いきずなで彼らの心を自分に結びつけ、彼らが父親の忠告を尊いとみなすような感化をその成長しつつある心にうちたてるために見せかけの威厳を捨て、余暇の時間における自分の軽いたのしみを幾らか犠牲にしなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 239）

b.　自分の子供たちを訓練する際に、忠実な両親は、どの約束をわがものと主張することができますか（イザヤ 49:25（下句））。

「父親は、家族の祭司として、朝夕の犠牲を神の祭壇の上に捧げ、妻と子供たちは祈りと讃美に加わりなさい。そのような家庭にイエスはとどまることを喜ばれる。」（クリスチャン教育 221）

「両親は自分の子供たちに対して神の立場に立つ。そして彼らは自分たちの保護にゆだねられたわずかなものに忠実であったかどうか会計報告を出さなければならないことになる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1893 年 3 月 28 日）

「母親の立場は目立たないものであろう。しかし、父親の感化と結合した彼女の感化は永遠に続く。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 263）

金曜日 *5月31日*

個人的な復習問題

1. **親はどのように自分たちの家庭を神と御使たちにとって心地よい場所とすることができますか。**
2. **夫であり父親である者の特徴的な徳と、妻であり母親である者のそれとの間にある相違を説明しなさい。**
3. **はっきり区別された女性の義務は、どのように男性の義務よりも神聖なのですか。**
4. **家庭の中にイエスのご臨在を確保するための鍵となる要素は何ですか。**
5. **親が家庭の輪の中で分かち合うべき重荷のいくつかを述べなさい。**

第 10 課　　安息日 2013 年 6 月 8 日

家族の規律

「そのとき、主を恐れる者は互に語った。主は耳を傾けてこれを聞かれた。そして主を恐れる者、およびその名を心に留めている者のために、主の前に一つの覚え書がしるされた。」（マラキ 3:16）

「愛は神から生じる。それは天来成長する植物であり、生来の心の中では生きることも繁茂することもできない。……品性を改革する最上の方法は愛という原則を通して、あなたの家族の行いを統制することである。それは本当の力であり、金銭や力ではなし得ないことを成し遂げる。」（教会への証 4 巻 256）

推奨文献：ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 301–324

日曜日　*6 月 2 日*

1.　　正しい態度と誤った態度

a.　家族の規律を維持する際に、親にとって重要不可欠なことは何ですか（マタイ 18:19）。家庭の態度が教会に持ち込まれる例を挙げなさい。

「父親は家族の留め金（ハウスバンド）であるべきである。これが彼の立場であり、もし彼がクリスチャンであれば、彼は家族の統治を維持する。すべての面において、彼の権威がみとめられるべきである。……もし父親と母親が対立し、一方がもう一方の感化力に反対して働いているならば、家族は道徳的に堕落した状態となり、父親も母親も、よく治められた家族に重要不可欠な尊敬や信頼を得ることはない。……親が神を畏れて子供たちを導き、自分たちが神の代理人であることを覚えて調和して働くならよいのだが。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1894 年 3 月 13 日）

「施設の責任者たちには、秩序を維持し、自分たちの保護の許にいる青年たちを賢明に律するという最も難しい仕事がある。教会員は、彼らの手をとどめるために多くのことをなすことができる。青年が施設の規律に服そうとしなかったり、あるいは自分たちの監督者と何か相違があって、あくまでも自分たちの方法でやろうと決めているような場合は、親は盲目的に自分の子供たちを支持し、同情してはならない。」（教会への証 7 巻 185）

2.　　子供を正す

a.　自分の子供たちを正す努力において、しばしば何が必要とされていますか（箴言 19:18）。

「あなたが自分の子供たちに対して忠実に自分の義務を果たした後は、彼らを神の許へ連れていき、このお方にあなたを助けて下さるように求めなさい。このお方に、あなたは自分の分を果たしたことを話し、それから信仰のうちに、神がご自分の分、すなわちあなたがなし得ないことを果たして下さるように求めなさい。このお方に彼らの気質をやわらげて下さるように、彼らをこのお方の聖霊によって、穏やかで優しいものにして下さるよう求めなさい。このお方はあなたの祈りを聞いて下さる。このお方はあなたの祈りに応えることを愛される。ご自分のみ言葉を通して、このお方はあなたに自分の子供を正すように、『これを滅ぼす心を起してはならない』ことを命じている。そしてこれらのことにおいて、このお方のみ言葉に注意を払うべきである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1854 年 9 月 19 日）

b.　クリスチャンだと公言する家庭においてある子供の反抗は、親の側のどのような誤った管理によって生じていますか（テモテ第二 3:2）。

「『終りの時』のしるしの一つは、自分の親に対する子供の不従順である（テモテ第二 3:2）。そして、親は自分たちの責任を自覚しているであろうか。多くの人々は自分の子供たちに対してつねに持つべき注意深い見守りを見失っているようである。そして彼らに悪感情にふけったり、不従順であることを許している。親は彼ら自身の感情がわきおこるまでほとんど子供たちに注意を払わず、それから彼らを怒って罰するのである。……

ご両親がた、自分の子供を正しなさい。彼らが幼いうちに、印象がたやすく残るうちに、始めなさい。そして彼らの悪い気質が子供たちの成長と共に成長し、彼らの強さと共に強くなる前に抑制しなさい。あなたは自分の子供たちを愛のうちに正すべきである。」（同上）

c.　自分の子供たちが成長していく際に、親は自分たちの規則やしつけの方法において何を悟ることが重要ですか（コリント第一 13:11）。

「自分の子供時代を忘れ、子供たちがまだ幼いということを忘れて、彼らをただきびしく取り扱ってはならない。子供に完全であることを期待したり、いちどきにおとなのようにふるまわせようとしてはならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 211）

3. 一貫した愛を通じての安全

a. 自分の子供たちを訓練するために、わたしたちはどのような態度で彼らに近づくべきですか（マタイ 18:3（上句））。この点において、いくつかの鍵となる原則を説明しなさい。

「母親よ、あなたの家族にはあなたのなすべき働きがないのであろうか。あなたは、どのようにしてすでに存在している悪をいやすことができるかと尋ねるかもしれない。どのようにして働きを始めることができるであろうか。もしあなたに知恵が不足しているなら、神の許へ行きなさい。このお方は惜しみなく与えると約束された。神聖な目的のために、多く、熱心に祈りなさい。一つの規則をすべての事情に適用することはできない。聖化された判断力を働かせることがいま必要とされている。性急になったりあせったりして、自分の子供たちに非難をもって近づいてはならない。そのような方法は、彼らのうちに反抗心を引き起こすだけである。あなたはサタンが自分の子供たちに誘惑をもって導くように扉を開いたかもしれない自分の取った誤った方法について深く感じるべきである。……あなたが自分の子供たちに自制の教訓を教える働きに取りかかる前に、自分自身でそれを学ぶべきである。」（母親たちへの訴え 20, 21）

「子供に早くから従順を教える親はほとんどいない。子供が従順を覚えるには早すぎると考えて、親がしつけることを控えるために、それを始めるのが二、三年遅れるのがふつうである。しかしその間に自我は幼児の中でどんどん強くなり、親が子供を制御することが日毎に困難になっている。

子供は、非常に幼い年齢でも、はっきりと単純なことばで言って聞かせれば、理解することができる。またやさしく、思いやり深く扱えば、従順を教えることもできる。……母親はどんな場合でも、親につけこむようなことを、子供に許してはならない。この権威を持ち続けるためには、手荒な手段を使う必要はない。しっかりした、むらのないやり方と、子供にあなたの愛を確信させるようなやさしさがあれば、目的を達成することができる。……

子供たちが両親を敬わない態度を示すことを決して許してはならない。子供のわがままな意志を黙って許してはならない。子供の将来を幸福にするためには、親切でやさしく、しかもしっかりしたしつけが必要です。」（家庭の教育 72）

b. 気遣う親によって、愛の力が行使されると、それはその子供たちのために何をなしますか（コリント第一 13:7, 8（上句）；ローマ 15:1）。

4. 家族の中で愛を表現する

a. 家族の生活を成功させることにおいて、主要な要素の一つは何ですか（ピリピ 2:2）。両親はどのようにいつも自分の子供たちを愛していることを示すべきかを説明しなさい。

「子供たちを導いて、彼らに、自分は家族の一員であると思わせる母親が必要である。……あなたは、あなたが子供を愛していること、彼らの利益のために努力していること、彼らの幸福があなたにとってたいせつなものであること、彼らの益となることだけをしようとしていることを子供たちにいつも印象づけなければならない。子供の要求を、賢明にかなえてやることができれば、そうすべきである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 212, 213）

「もしあなたの子供がおもちゃとして用いるには適当でないものをもって遊んでいるなら、それを彼から取り上げないで、彼にふさわしく、もっと彼にとって楽しいものと取りかえさせなさい。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1894 年 4 月 30 日）

「子供たちを赤ん坊の頃から、快活で従順なものとなるように教育しなさい。彼らにあなたを助けることを教えなさい。彼らが家族の一員であって、あなたが彼らの助けを必要としていること、そうすれば、あなたが彼らの世話のために時間を取ることができることを教えなさい。ある母親は言う、『ああ、彼らがわたしを助けようとするとかえって邪魔になります』。わたしの子供もそうであるが、あなたはわたしが彼らにそれを知らせたと思うであろうか。あなたの子供をほめなさい。彼らに、規則に規則、教訓に教訓を重ねて教えなさい。これこそ、小説を読んだり、電話をかけたり、世の流行に従ったりするより良いことである。わたしたちはこの人生を一度しか通らない。キリストがわたしたちに奮闘するようにとお命じになった目的に到達できずに失敗するわけにはいかないのである。」（説教と講和 1 巻 325, 326）

b. クリスチャン家族は互いに愛情をどのように表現すべきですか（エペソ 4:32; ヤコブ 3:17）。

「家族の者たちが互いに愛情を表現しない家庭が多い。感傷は不必要であるが、清潔できよらかな、そして品位のある態度で愛情とやさしさを表わす必要がある。多くの人はきびしい心だけを養って、ことばや行動に品性の悪い面を表わす。どんな時にも夫と妻や、親と子や、兄弟姉妹の間にやさしい愛情を育てなければならない。軽率なことばはすべて押えなければならない。互いに愛情のない表情をすることさえあってはならない。快活であること、やさしく話すことは、家族ひとりびとりの義務である。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 214）

木曜日 *6月6日*

5.　聖霊に支配していただく

a. 自分の子供たちに対して、父親と母親はどのような模範を示すべきですか（マタイ 11:28–30）。

「家族の中で、父親と母親は、いつも自分の子供たちの前に彼らがならいたいと思うような模範を示すべきである。彼らは互いに言葉やまなざしや行動に優しい配慮を表すべきである。彼らは自分の子供たちにイエス・キリストのご品性を表すことによって、聖霊が自分たちを支配していることを明らかにすべきである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1894 年 3 月 13 日）

b. 自分の子供たちを訓練する際に、どの目的を常に心に留めておくべきですか。またどのようにしてそれにとりかかるべきですか（ヨハネ第二 4–6）。

「親は日常生活の中で、神を最高に愛し、自分の隣人を自分自身のように愛するとはどういうことであるかを表すべきである。宗教が家庭において実際的なものであるところは、大きな善をなしとげる。宗教は家庭においてなすべきだと神が計画された働きを果たすように親を導くのである。子供たちは主への畏敬と薫陶のうちに育てられるようになる。」（同上）

金曜日 *6月7日*

個人的な復習問題

1. **なぜ小さい子供たちはしっかりとした心身が必要なのですか。なぜ彼らは何が家庭において良いことで、受け入れられるふるまいなのか、また何が受け入れられないことなのかの区別を知る必要があるのですか。**
2. **子供たちを正すのに正しい方法と誤った方法を区別しなさい。**
3. **わたしたちはあらゆる知恵の基礎として自分の子供たちの前にどの原則を掲げるべきですか。**
4. **家族の中で愛情を表現することはどれほど重要ですか。**
5. **クリスチャンの親はどのように自分たちが聖霊に支配されていることを表すのですか。**

第 11 課　　安息日 2013 年 6 月 15 日

家庭の感化

「わたしたちは、救われる者にとっても滅びる者にとっても、神に対するキリストのかおりである。」（コリント第二 2:15）

「男女の幸福と教会の成功は、大いに家庭の感化力にかかっている。……世界は偉大な知能よりも、自分の家庭で祝福となる善良な人物こそ、大いに必要としている。」（福音宣伝者 204）

推奨文献：教会への証 4 巻 499–503

日曜日　*6月9日*

1.　「命の泉」

a.　なぜ心は油断することなく守られるべきなのですか（箴言 4:23）。家族はどのように共同体や教会や国家の中心であるのか説明しなさい。

「社会は家庭から成り、各家長が作りあげるものである。『命の泉』は心の中にわき出るのであって、また社会、教会、国家の中心は家庭である（ 箴言 4:23）。社会の幸福と教会の成功、国家の繁栄は家庭の感化に左右される。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 323）

b.　有益な家庭の感化力の結果を描写しなさい（詩篇 115:11–14）。

「家庭生活が純潔で真実であり、その中に育つ子供が人生の責任を負い、危険に応ずる準備ができていれば、この社会はどんなに大きく変化することであろう。」（同上 324）

「家族の一員は互いに正直、誠実、率直、寛容、優しさを表すべきである。励ましの言葉を語ることによって、互いに助け合うべきである。そのような言葉はしばしば譴責を不要とする感化力を働かせる。物事を快活な光のうちに見て、もし心に抱いていれば魂を包み込んでしまう影を晴らすように努めなさい。他の人々への同情を培いなさい。快活、親切、愛が家庭に行きわたるようにしなさい。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1898 年 9 月 1 日）

2. キリスト教を実際的に表す

a. クリスチャン家族は、自分たちの公言する救う信仰を実際的にどのように表すことができますか（マタイ 7:20, 21; ヤコブ 1:25, 27）。

「クリスチャンの親は、自分の子供たちが神の律法に従うように教育すべきである。この神の律法への従順と敬意の根拠は、彼らがその性質を理解できればすぐに彼らに印象づけることができ、彼らは何をなすべきか、また何をせずに抑制すべきかを知るようになる。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1898 年 5 月 10 日）

「夫であり父親である人に、わたしは、あなたの魂を必ず純潔できよらかなふんいきで包みなさいと申し上げたい。……あなたは毎日キリストに学ばなければならない。家庭で暴君的な精神を決して示してはならない。こういう精神を示す人は、サタンの代理者と共同して働いているのである。あなたの意志を神の意志に従わせなさい。あなたの妻の生活を楽しい、幸福なものとするために全力を尽くしなさい。神のことばをあなたの相談相手となさい。神のことばの教えを家庭で実践しなさい。そうすれば教会の中でもそれを実践し、仕事場にもみことばを持っていくようになるであろう。天の原則はあなたのすべての取り引きを高める。神の使いはあなたに協力し、あなたが世にキリストをあらわすのを助ける。」（アドベンチスト・ホーム 232, 233）

「実際的な宗教をもとう。……もし神の讃美がわたしたちの家庭のうちにあるなら、教会における不一致の危険はない。平和を作りだす人がいるところには、聖天使たちの奉仕がある。改心しなさい。悔い改めなさい。何が宗教であるかを悟りなさい。あなたの心を開き、主イエスをお迎えしなさい。わたしたちは神への奉仕において二心でありながら、裁きの日に立つ準備はできない。わたしたちは内なる部分にキリストにいていただかなければならない。そしてこのお方の聖なるご臨在は、家庭にも教会にも純潔な雰囲気を造るのである。」（ユース・インストラクター 1896 年 1 月 9 日）

b. クリスチャン家族は、世の前に、どのような実物教訓を提示すべきですか（ペテロ第一 3:15, 16; コリント第二 2:15, 16）。

「神はわたしたちの家族が天の家族の象徴となることを望んでおられる。両親も子供もこのことを日々おぼえて、互いに神の家族の一員としての関係を保たねばならない。そうするとき彼らの生活は、神を愛し神のいましめを守る家族がどんなであるかという実物教訓を世に示すような特徴をもったものとなる。キリストがあがめられ、キリストの平和と恵みと愛は高価な香水のように家族の中に浸透する。」（アドベンチスト・ホーム 6）

3. クリスチャン家族の感化力

a. 世の堕落した感化力に反対して、どの要素が、わたしたちの子供のために確固とした保護を与えますか（マタイ 5:13）。

「真の宗教は世の光であり、地の塩である。クリスチャンのご両親がた、あなたがたは塩にはあなたの家族のために救う力があることを考えているであろうか。家庭の中で声を張り上げた命令があるべきではない。あなたの唇から、あなたの子供たちに向かって不親切で腹立たしいものが何一つ出てくることがないようにしなさい。これらの子供は、自分たちの最初の教訓を自分たちの父親と母親から受けるのである。だから、荒々しく、厳しい、陰鬱な見本が彼らに与えられるべきではない。キリストの愛が彼らの品性を形づくらなければならない。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1899 年 8 月 22 日）

「朝、クリスチャンの最初の思想は、神についてであるべきである。へりくだりのうちに、優しさに満たされた心をもって、あなた自身と子供たちを取り囲む誘惑と危険を自覚して、このお方のみ前に来なさい。朝に夕に、熱心な祈りと辛抱強い信仰によって、自分の子供たちの周りに垣根をもうけなさい。忍耐強く彼らを教えなさい。親切に倦むことなくいかに生きるべきかを教え、彼らが神を喜ばせることができるようにしなさい。」（サインズ・オブ・タイムズ 1886 年 11 月 18 日）

「一人びとりが親切で礼儀正しいクリスチャンである家庭は、善のために遠大な感化力を及ぼす。他の家族はそのような家庭によって得られた結果に注目し、示された模範に従い、今度は自分たちが悪の感化力に対して自分たちの家庭を守る。……一つのよく秩序立てられ、よく規律の取れた家族は、説くことのできるあらゆる説教よりも、キリスト教のために多くを語る。……注意深く守られたクリスチャン家庭で幼年時代や青年時代に受けた影響は、世の腐敗から守る最も確かな保護手段である。」（今日のわたしの生涯 124）

b. クリスチャンの親は、どのように仲間や不信者に及ぼす救う感化力を維持できますか（テモテ第一 4:12–16）。

「もしあなたが一人の魂に救う感化力を働かせることができるなら、天では一人の悔い改めた者のために喜びがあることを覚えていなさい。……あなたは思慮深い努力によって、失われた羊をイエスの囲いに連れ帰る手段となることができる。……良い原則を実践することにおいてあなたが堅固な目的をもつとき、魂が正しい方向へ傾く感化力をもつ。あなたのなし得る善に限りはない。」（同上 122）

4. 家庭においてクリスチャンである

a. 真のクリスチャンは、どの程度まで神の御霊を表し、家庭で調和をもちますか（コリント第一 13:6, 7; ヨハネ第一 4:7）。

「家庭において自己を律することによって、多くのものを得ることができる。……各々互いのために人生をできる限り喜ばしいものとしなさい。……あなたは神の御霊をもたなければならない。さもなければ、わたしたちは家庭で調和することができない。……わたしたちは家庭の愛情をいだくのに気をつけすぎることはない。なぜなら、もし主の御霊がそこに宿っていれば、天の型だからである。……優しい愛情がいつも夫と妻、親と子供、兄弟と姉妹の間で大事にされるべきである。……家族の中で感じよくし、親切に話すことはすべての人の義務である。内に愛のある家、すなわち愛が言葉やまなざしや行いにおいて表現される場所は、天使たちが自分たちが居ることを表し、栄光からの光線によって光景を聖なるものとすることを愛する場所である。……愛がまなざしやふるまいに見られ、声の調子に聞かれるべきである。……家族の全員の側での自制は、家庭をパラダイスのようにする。」（今日のわたしの生涯 84）

b. 真の愛はどのように表されますか（ヨハネ第一 5:2, 3; ヨハネ第二 6; ローマ 13:10）。

「家庭で表される愛情は、キリストを通して無限の愛の心から家族の輪の一人びとりを祝福するためにあふれるキリストの愛の表れである。天の家族の祝福を構成しているのは愛である。家庭生活において愛を培う人々は、キリストの姿に似た品性を形成する。そして彼らは親切で思いやり深い奉仕によって、心地よい言葉によって、キリストのような同情によって、慈善の行為によって、他の人々を祝福することができるために、家族の輪を越えて、有益な感化力を働かせずにはいないのである。……

天来の識別のある人々、家族の一人びとりに優しい思いやりを働かせる人々は、自分たちのすべての義務を果たすことによって、自らを他の家庭を明るくし、他の人々に家庭を幸福にするものは何かを教訓と模範によって他の人々に教える働きをなすのにふさわしい者となるのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1895 年 10 月 15 日）

木曜日 *6月13日*

5.　　日常生活における忠実さ

a.　真のクリスチャンの親は、小事をなすときでさえ、どれほど忠実ですか（マタイ 25:21）。

「家族だけが朝食や夕食の食卓に集まるとき、来客があるときと同じ礼儀が行き渡るべきである。譴責や文句、不愉快な言い争い、スキャンダル、また陰うつな沈黙ははらいのけるべきである。会話はほがらかで、できる限り小さい家族に合ったものとしなさい。」（健康改革者 1874 年 2 月 1 日）

「どんな小さなことについても真実を語りなさい。毎日、愛の行為をなし、明るいことばを語りなさい。人生の路上に微笑をまきちらしなさい。このように働くとき、神はあなたを嘉納し、いつかはキリストが、『良い忠実なしもべよ、よくやった』とあなたに言われる日が来る。（マタイ 25:21）。」（青年への使命 139, 140）

b.　彼らの良い感化力の結果として、神の忠実な子らはイエスの唇から何を聞くようになりますか（マタイ 25:34, 35, 40）。

「称賛や利益を念頭におかず、毎日の生活を忠実に送り、自分の働きを手ばやくみつけてこれをした人は、審判の日に『わたしの父に祝された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されているみ国を受けつぎなさい』とのみことばを聞きます（マタイ 25:34）。キリストは、彼らが弁舌さわやかにしゃべったり、知的な能力を発揮したり、豊かな献金をささげたからといっておほめになるのではない。一般に見過ごされているような小さいことをしたことによって、彼らは報いられるのである。」（ザ・ユース・インストラクター・1901 年 1 月 17 日）

金曜日 *6月14日*

個人的な復習問題

1.　家庭の感化力は、その家族が生活している共同体の中で、どの程度わかりますか。
2.　キリスト教を実際的に表すことについて述べなさい。
3.　真のクリスチャン家族は、どのように救う感化力を働かせることができますか。
4.　神の御霊が家庭を支配しているという証拠は何ですか。
5.　わたしたちの善への感化力は、裁きの日に、どのように評価されますか。

友人、親戚、そしてレクリエーション

「世には友らしい見せかけの友がある、しかし兄弟よりもたのもしい友もある。」（箴言 18:24）

「社交的な関係を通して、キリスト教は世の人々と接触するようになる。天来の光を受けた者はだれでもみな、いのちの光であられるキリストを知らない人々の道を照すのである。」（各時代の希望上巻 178）

推奨文献：　人類のあけぼの上 81–86；家庭の教育 305–308

日曜日　*6 月 16 日*

1.　キリストの模範

a.　神は人類の最大の必要にどのように応じられましたか（ローマ 5:6–10；ヨハネ 3:16）。わたしたちはどのように神聖な型を模範とすべきですか（ペテロ第一 2:21–23）。

「われわれは社交的なまじわりをたちきるのではない。他の人たちから孤立してはならない。あらゆる階級の人々に接するためには、われわれは彼らのいるところで彼らに会わねばならない。……講壇からだけでは人々の心は天来の真理に動かされない。もう一つの働きの領分がある。それは目立たないかもしれないが、大いに有望である。それは身分のいやしい人々の家庭に、身分の高い人々の邸宅に、もてなしの食卓に、無邪気な親睦の集りの中にみいだされる。」（各時代の希望上巻 177, 178）

「最も困窮している人々や友人のない人々の友となることにおいて、〔キリストに〕従いなさい。自己を忘れて、他の人々に善をなすために自己否定と自己犠牲の行為に豊かになることにおいてこのお方に従いなさい。」（教会への証 2 巻 178）

b.　わたしたちの態度は、どのように世にいる人の敵意をしずめるのに役立ちますか（ヘブル 5:2；コリント第一 13:4–8）。悪い交わりはどの程度まで運命に影響しますか（コリント第一 15:33）。

「仲間を探すのは自然なことである。だれでも仲間を見つけたり、仲間になったりする。そしてその友人が互いに悪か善かに及ぼす影響力の量は、友情の強さに比例する。」（同上 4 巻 587）

2.　　世にあるが、世のものではない

a.　わたしたちはクリスチャンが霊的な飛び地に孤独でいることを、神は意図されなかったことが、どのようにわかりますか（ヨハネ 17:15–17; 箴言 18:24）。クリスチャンは罪と罪人との交わりという明らかな悪影響をどのように避けることができますか（ヘブル 12:2（上句））。

「神の子らと世の友の間に、聖でない絆を形成してはならない。信者と不信者の間で結婚があるべきでない。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1894 年 7 月 31 日）

「宗教は、あなたの追及するすべてのことにおいて、あなたに命じ、導き、あなたの愛情に対して絶対的な支配権をもつべきである。もしあなたがあますことなくキリストのみ手のうちに自らをおゆだねし、このお方の力をあなたの力とするなら、あなたの道徳的な視界は品性の資質を見分けるために明らかにされ、あなたの友情関係において、見せかけによって欺かれたり、重大な過ちを犯すことがないようにする。あなたの道徳力は、鋭く敏感でなければならない。それは厳しいテストに耐え、損なわれることのないためである。あなたの魂の尊厳は、虚無、見せびらかし、あるいはへつらいがあなたを動かすことのないように確固としているべきである。」（教会への証 3 巻 47）

b.　キリストは「世」という言葉によって、何を意味しておられますか（ヨハネ第一 5:19; 4:4–6）。なぜ孤立は、罪による汚れに対する乏しい解決法なのですか。

「神は、わたしたちが礼拝に専心するからといって、なにもこの世からのがれて隠遁者となり、修道僧になることを望んではおいでにはならない。わたしたちの生涯はキリストの生涯のごとく、山と群衆の間になければならない。祈るばかりで働かない人は、まもなく祈ることをやめるか、その祈りはただ形式的な習慣になってしまう。人が社会生活から離れてクリスチャンとしての義務と十字架を負うことを避け、自分たちのために熱心に働かれた主のため働くことをやめるとき、祈る主題を失ってしまい、神を拝する刺激も共に失ってしまう。かれらの祈りは個人的になり、利己的なものになる。」（キリストへの道 139）

3. 友人と友情

a. 聖書に記録されている永続的な友情の例を挙げなさい（サムエル記上1 18:1–3）。どのような共通の利益が、真の友情の基礎となりますか。

「あなたの毎日の生活の中で、優しさと友情の気持ちを培いなさい。あなたは真の礼儀とクリスチャンの丁寧さを表すべきである。イエスを本当に愛する心は、このお方がそのために死なれた人々を愛する。磁石の針が忠実に南北をさすのとまったく同じように、真にキリストに従う人は、正直な労働の精神をもって、キリストがご自分の命をお与えになった魂を救おうと努める。」（教会への証 6 巻 466）

「友だちがだれかわたしたちと一緒にいるとしよう。そして道中知人にであったときに、自分たちの注意をぜんぶ新しく見つけた知人に向けて、自分たちの友人の存在はまったく無視するとしたら、その友人に対するわたしたちの忠誠について、わたしたちがどれくらいその人を尊んでいるかについて、人々はどのような意見をもつことであろうか。しかし、これがわたしたちのイエスを取り扱う方法なのである。わたしたちはこのお方がわたしたちと共におられることを忘れる。会話をしながら、わたしたちの言葉に、このお方の御名を述べることも、このお方の教えを含めることもしないのである。わたしたちは世の事業について話す。そしてそれが魂を傷つけず、重要なところでは、イエスを辱めることはない。しかし、わたしたちが友人や仲間との交わりの中で、このお方について述べないとき、わたしたちはこのお方を辱めるのである。このお方はわたしたちの最高の友であられる。そしてわたしたちはこのお方について語る機会を探し求めるべきである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1893 年 1 月 9 日）

b. ルツは、ナオミに対する友情が、霊的な基礎をもつものであったことを、どのように示しましたか（ルツ記 1:16–18）。なぜクリスチャンは、危険を冒さずに、不信者との深い友情を維持することができないのですか（アモス 3:3）。キリストはご自分の友人の選択について、どのように語られましたか（ヨハネ 15:14–16）。

「友情を築く際には、安全に倣うことのできない模範を示す人との親密な関係を結ぶことがないように非常な注意を払うべきである。なぜなら、そのような親密さの影響は、神から、献身からそして真理の愛から引き離すように導くからである。あなたが宗教経験のない友人たちをまねるのは、あなたにとって明らかに危険である。もし、……あなたが、……自分の魂の救いの価値を測るなら、宗教の事柄への真剣な関心を維持しない人々を、自分の……親密な友人として選ぶことはしないであろう。」（教会への証 3 巻 42）

4. クリスチャンとその親戚

a. イエスと弟子たちが家族の集まりに出席した例を挙げなさい（ヨハネ 2:1, 2, 11）。

「ガリラヤのカナで結婚式があることになっていた。当事者はヨセフとマリヤの親戚であった。キリストはこの家族の集まりについて、また多くの影響力をもつ人々がここで一堂に会することをご存じであった。そこで、弟子になったばかりの人たちと一団で、カナへの道を進まれた。イエスがその場所に来られたことがわかるや否や、特別な招待がこのお方とその弟子たちに送られた。これはイエスが目的としておられたことで、このお方はそのご臨在によって、祝宴を栄誉あるものとされた。」（ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄｺﾒﾝﾄ]5 巻 1132）

b. わたしたちは世俗の親戚との交わりにおいて、どのように気をつけるべきですか（コリント第一 15:33）。

「わたしたちは神と世に同時に仕えることはできない。わたしたちは真理を学ぶことに興味のない世俗の親戚にわたしたちの愛情を集中させてはならない。わたしたちは彼らと交わりながら、わたしたちの光が輝くようにあらゆる方法を探すことはできる。しかし、わたしたちの言葉、ふるまい、ならわしや習慣は、いかなる方法においても彼らの考えや習慣にかたどられるべきではない。わたしたちは彼らとのすべての交わりにおいて真理を示すべきである。もしわたしたちがこれをなすことができないならば、彼らとの交わりが少ないほど、わたしたちの霊性には良いのである。もしわたしたちが、主がわたしたちに対して持っておられる高いご要求を忘れさせがちな影響力をもつ交わりのうちに自らをおくなら、わたしたちは誘惑をまねき、道徳的な力において弱くなり、それに抵抗できなくなる。わたしたちは仲間の精神にあずかり、彼らの考えを心に抱き、神聖にして永遠の事柄を自分の友人たちの考えよりも低めてしまう。つまり、あらゆる義の敵がわたしたちに対してもくろんだ通りに、パン種によってふくらむのである。」（教会への証 5 巻 543）

「わたしたちは世の標準よりもほんのわずか自分たちの標準を高めるべきではない。かえって、わたしたちは区別を決定的に明らかにすべきである。わたしたちが不信仰な親戚や仲間にこれほどわずかな影響力しか持たない理由は、わたしたちの習慣と世の習慣の間にあまりにもわずかしか明確な相違がなかったからである。」（ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E.G. ﾎﾜｲﾄｺﾒﾝﾄ]6 巻 146, 147）

「近親者や友人たちが家庭のことにあれこれ口出しするために、だめになっている子供たちがたくさんいる。母親は、子供たちを正しく育てているのであれば、自分の姉妹たちや母親に間違った口出しをさせてはならない。」（家庭の教育 305）

木曜日 *6月20日*

5.　　運動とレクリエーション

a.　キリストのどの模範が、クリスチャンの働き人もまた休息やレクリエーションを必要としていることを示していますか（マルコ 6:30–32）。なぜ戸外での運動が有益なのですか。

「神は自然界においてご自分のみわざを熟考することを奨励しておられる。このお方はわたしたちが思いを人工的なものについての研究から自然へと転じるように望んでおられる。」（神のむすこ娘たち 110）

「屋内や座業の仕事についている人にとって戸外での運動は、健康のために益となる。できる人はみな、この方針で進むことが義務であると感じるべきである。何も失うものはなく、かえって多くを得る。彼らは自分の職場に新しい命を新しい勇気をもって戻り、熱心さをもって労働に携わることができる。そして彼らはより病気に抵抗できるようになる。」（教会への証 1 巻 515）

b.　わたしたちはレクリエーションの分野で、決してどの目的を見失ってはなりませんか（ピリピ 4:8）。どの程度までわたしたちはクリスチャンとして、疑わしい娯楽の場所を避けるべきですか。

「真のクリスチャンは、神の祝福を求めることのできない娯楽の場所へ出入りしたり、遊びに加わったりしたいとは思わない。こういうクリスチャンは、劇場や玉突き場やボーリング場に姿をみせない。」（青年への使命 399）

「自負心を助長し、食欲にふけらせるような、また神を忘れ、永遠の関心事を見失わせるような楽しみのための会合において、つねにサタンが人々の魂のまわりに、彼の鎖をまきつけているのである。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 593）

金曜日 *6月21日*

個人的な復習問題

1.　神は愛の原則をどのように表されましたか。
2.　イエスを仰ぐことによって、わたしたちは世からどのように守られますか。
3.　友情を築くときに、わたしたちはどのように気をつけるべきですか。なぜですか。
4.　家族の集まりに参加するとき、出席している人々をどのように祝福することができますか。
5.　どのような疑わしい娯楽の場所を、わたしたちは避けるべきですか。なぜですか。わたしたちや家族の益となる活動をいくつか挙げなさい。

第 13 課　　安息日 2013 年 6 月 29 日

家族の難問を扱う

「だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。」（ペテロ第一 5:6, 7）

「わたしたちがどのような境遇にあっても、導き手であられる主がわたしたちをお導きくださる。どんな問題であっても主は確実な相談相手である。また、どんな悲しみ、死別のなげき寂しさの中にあっても、同情にあふれた友なるイエスがわたしたちとともにおられる。」（キリストの実物教訓 154）

推奨文献： ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 225–228, 467–482

日曜日　*6 月 23 日*

1.　　不必要に問題を生じさせる

a.　家庭での争いを避けるために、どの知恵の言葉が思い起こされますか（箴言 17:1; 21:9）。

「ある家族では、反論と議論の精神が調和を損なっている。すべての発言が、あたかも分析され、一つ一つの言葉の絶対的な正確さが評価される。重要でない不正確さが見張られ、ただ暴露するためだけに暴露されるとき、社会的な自由は深刻なまでに妨げられる。兄弟姉妹もまた時にはほとんど気づかず、半分本気で、半分冗談に、互いにからかう習慣を身につけている。当事者は疑わしい娯楽を何でも楽しむが、これは他のすべての人々にとってはとくに居心地が悪いものである。」（健康改革者 1874 年 2 月 1 日）

b.　ある場合には、どのようにペテロが湖上での問題にとらわれたかを説明しなさい（マタイ 14:26–31）。わたしたちは同じような状況にあるときに、しばしばどのようにペテロのように行動しますか。

「われわれも、苦難におそわれるとき、ペテロのようになることがどんなに多いことだろう。われわれは、目を救い主にそそがないで、波をみつめる。」（各時代の希望中巻 124）

2.　必要な時の助け

a.　わたしたちが自分のための神の助けのみ手を認めるか否かは、大いにどのような条件次第ですか（マルコ 9:23; マタイ 8:26（上句））。

「信じる者にはすべてのことが可能である。そしてわたしたちが祈るときに望むものは何であっても、受けると信じるならば、それらを得るのである。この信仰は最も暗い雲を貫き、気の沈む落胆した魂に光と希望の光線をもたらすのである。困惑、懸念、邪推をもたらすのはこの信仰と信頼の欠如である。神はご自分の民がご自分に完全な信頼を置くときに、彼らのために大いなることをなさる。」（教会への証 2 巻 140）

b.　どの状況が、わたしたちの主との交わりを妨げ、祈りが聞かれないようにしますか（詩篇 66:18; イザヤ 59:1, 2）。

c.　わたしたちはどのように不要な問題に落ち込みますか（ヤコブ 3:1–6）。わたしたちの問題のほとんどは、どのようにして避けることができるかを説明しなさい。

「興奮する気質と辛らつな非難は、人々に感動を与えることもなければ、彼らの同情を得ることもない。……

生活上のわずらわしさや、日常のむしばむような心配事、その心痛、いらだちは、ほとんど制せられていない気質の結果である。家庭生活の調和はしばしば、荒だたしい言葉や口汚い言葉によって破られる。それらを言わずにいたら、どれほどはるかに良いことであろう。一つの心地よいほほ笑み、柔和な精神で語られた一つの平和な是認の言葉は、落ち着かせ、なぐさめ、祝福する力となる。自己の統治は世における最上の統治である。柔和としとやかな霊という飾りを身につけることによって、生活をこれほど苦々しいものとしている百のうち九九の問題を避けることができる。多くの人々が、自分の厳しい言葉や感情的な気質を『わたしは神経質なのです、わたしは厳しい気性なのです』と言って言い訳する。これは決して、厳しい感情的な言葉によって生じた傷を癒すことはない。」（同上 4 巻 348）

3. 必要な時の助け（続）

a. いらだつ親はいつも、困難や危機の時に、何を心に留めておくべきですか（詩篇 28:1, 2; 27:14）。

「怒りっぽく気むずかしい父親と母親は、子供たちに取りかえしのつかない悪い感化を与えています。それは、もし子供たちがそのような悪い性質を学ばないですむのだったら、親は持っているものを全部与えてもよいと、生涯のある時期に思うほどのものなのです。子供たちは親の生活の中に、彼らの信仰と調和した一貫性を見なければなりません。首尾一貫した生活をし、自制心を働かせる事によって、親は子供の品性を形づくることができるのです。」（家庭の教育 522, 523）

「わたしたちは苦難の世界に生きており、天の家郷へ行く道には絶えず艱難、試練、悲嘆がわたしたちを待っている。しかし、たえず苦難を予想して生涯の重荷を倍にしている人が多い。災難や失望に会うとすべてがだめになってしまうように考え、自分はだれよりも一番運が悪く、必ず貧窮に陥ると思いこむ。こうして自ら不幸を招き周囲の者をみな憂欝にする。生きていくことそのものが重荷となるのであるが、そうなる必要はない。この考え方を変えるには決定的な努力がいるが可能である。この世の喜びも来世の喜びも共に明るいことに心をむけるかどうかによってきまる。想像にすぎない暗い光景に気をとめることなく、神が彼らの道にまいておられる恵みを思い、その果てにある目に見えない永遠のものを見るようにさせなさい。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング 225）

b. 神はご自分の従順な子らが必要な時にご自分に叫ぶならば、彼らのために何をして下さると約束なさいましたか（詩篇 34:17; 145:19; ペテロ第一 5:7）。

「神の都に行くその途中には、キリストにたよる者が勝つことのできない困難など一つもなく、またのがれることのできない危険もない。神が助けの道を備えておられない悲嘆、苦痛、人間的弱さというものはないのである。

だれひとりとして失望落胆し、自暴自棄に陥る必要はない。サタンは『あなたは見込みのない人間だ。あがなわれることができない人間だ』と残酷な暗示をかけに来るかもしれないが、あなたのためにはキリストの中に望みがあるのであって、神はわたしたちが自分の力で勝利するように命じてはおられない。神のそば近くに来るように神は仰せになる。身心をうちひしぐ、あらゆる困難のもとに働くときも、神はわたしたちを自由にしようと待っておられる。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング 226, 227）

4. 家庭における満足

a. もし従うならば、キリストのどのような模範が、家庭における多くの問題に対して門を閉ざしますか（マタイ 20:25–28.

「幸せになるために、わたしたちはキリストが表された品性に到達するように奮闘しなければならない。キリストの顕著な特質は、このお方の自己否定と慈善であった。このお方はご自身のものを探すために来られたのではなかった。このお方は良いことをするために巡回された。そしてこれがこのお方の食物であり、飲み物であった。わたしたちは救い主の模範に従うことによって世に対する祝福となり、この地上では自分自身の満足と、将来には永遠の報いを得るようになる。」（教会への証 4 巻 227）

b. 満足の精神は、家庭の中で何をなしますか。またそれはどのようにして培うことができますか（テモテ第一 6:6–8; 詩篇 37:16）。

「あまりにも多くの心配事と重荷がわたしたちの家庭に持ち込まれており、あまりにもわずかな自然な単純さと平安と幸福しか大事にされていない。外の世界が何を言うかについてはもっと心配を減らし、家族の一人びとりへの思いやり深い注意がもっと必要である。」（今日のわたしの生涯 169）

「その家が粗末であっても優雅であっても設備がぜいたくであっても、その反対であっても、その中に住む人々の精神が神のみこころに調和していなければ、そこには幸福はない。満足の精神がその家庭を支配していなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 161, 162）

c. 家庭のプライバシーの中で、どの誓いが忠実さの重要性を示していますか（詩篇 101:2）。なぜ満足の精神が幸せな家庭生活の鍵であるかを説明しなさい。

「真の礼儀が行き渡っている家庭では、まさに入口であなたに会うようである。あなたは入るときに親切な歓迎を感じる。無礼な目があなたの衣服をじっと見ることはない。二階で怒った声が聞こえることはない。すねた子供が部屋に送り返されることはない。主婦や僕の怠慢を隠すために横柄な命令が出されることはない。喜ばしい雰囲気が家に充満している。それは紛れもないが、表現しがたい。」（健康改革者 1874 年 2 月 1 日）

木曜日 *6月27日*

5.　　心と家庭を癒す

a.　すべての必要のために、神は何を備えて下さいましたか（ホセア 6:1, 2; マラキ 4:2）。

「試練に会い、誘惑されているすべての者は、天の大君が、人類家族の一員が誘惑されるように、あらゆる点において誘惑されたこと、そしてこのお方は闇の権力に取り囲まれている人々をどのように救うかをご存じであることを覚えていなさい。」（ｽﾊﾟﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｱﾝﾄﾞ・ﾓｰｶﾞﾝ・ｺﾚｸｼｮﾝ 292）

「あらゆる試練に際してわたしたちがキリストを求めるならば、キリストは助けを与えてくださる。わたしたちの目は打ち開かれ、そのみ言葉の中に記録されているいやしの約束に気づくようになる。聖霊は悲しみを和らげる祝福をいっさい自分のものとする方法を教えてくれる。わたしたちのくちびるにあるすべての苦い水に対してそれをいやす木の枝を発見するであろう。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 225, 226）

b.　わたしたちは主がわたしたちを自分の問題から助け出して下さり、わたしたちの弱さを癒して下さることができる前に、何を経験しなければなりませんか（イザヤ 27:5; 使徒行伝 5:31; 詩篇 103:3）。

「わたしたちは未来のことを考え、困難な問題や面白くない予想をして自ら失望し、ひざを震わせ、両手を下げて意気消沈してはいけない。『わたしの保護にたよって、わたしと和らぎをなせ、わたしと和らぎをなせ』と大能の神は申されている（イザヤ書 27:5）。神の指導に従い、神に仕えるために一生をささげる者が神が備えられない境遇に陥ることは決してない。もしわたしたちが神のみ言葉を行っていれば、境遇がどうであっても、みちびき手である案内者があり、どんな困惑に遭遇しても確かな相談相手があり、どんな悲しみ、死別、孤独の中にあってもわたしたちには同情深い友人がいるのである。」（同上 226）

金曜日 *6月28日*

個人的な復習問題

1. **制御されていない気質の結果は何ですか。**
2. **多くの人々は、どのように自ら生活の重荷を倍に重くしていますか。**
3. **困惑、悩み、恐れの真の原因は何ですか。**
4. **わたしたちが不必要な問題を避けるために、発達させるべき特質の一つを述べなさい。**
5. **将来の危険を目の前にして、わたしたちは自分自身と家族にどのような責任を負っていますか。**

第一安息日献金

4月6日

インド・プネの教会のためにのために

(4 ページ参照)

5月4日

2013 年ロンドンプロジェクトのために

(25 ページ参照)

6月1日

ベリーズにおける本部のために

(46 ページ参照)